

2025年3月期 決算説明資料

三洋化成工業株式会社
代表取締役社長 樋口 章憲

コード：4471



<注意事項>

この資料に記載している金額は表示単位未満を切り捨てで、その他、比率等は表示単位未満を四捨五入しております。

<免責事項>

この資料には、2025年5月22日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測等が含まれています。世界経済・競合状況・為替の変動・原料価格の動向等にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予測と大幅に異なる可能性があります。

<IRに関するお問い合わせ>

三洋化成工業株式会社
経営企画本部 コーポレート・ガバナンス部
E-mail : pr-group@sanyo-chemical.group

創 立：1949（昭和24）年11月1日

本 社：京都市東山区

資本金：13,051百万円

国内支社・営業所：東京、名古屋、広島、福岡

国内工場：名古屋、衣浦、鹿島、京都、川崎（サンケミカル）

従業員数：1,680名（連結）[2025年3月31日現在]

事業内容：約3,000種のパフォーマンス・ケミカルス（機能化学品）の製造・販売

(億円, %)

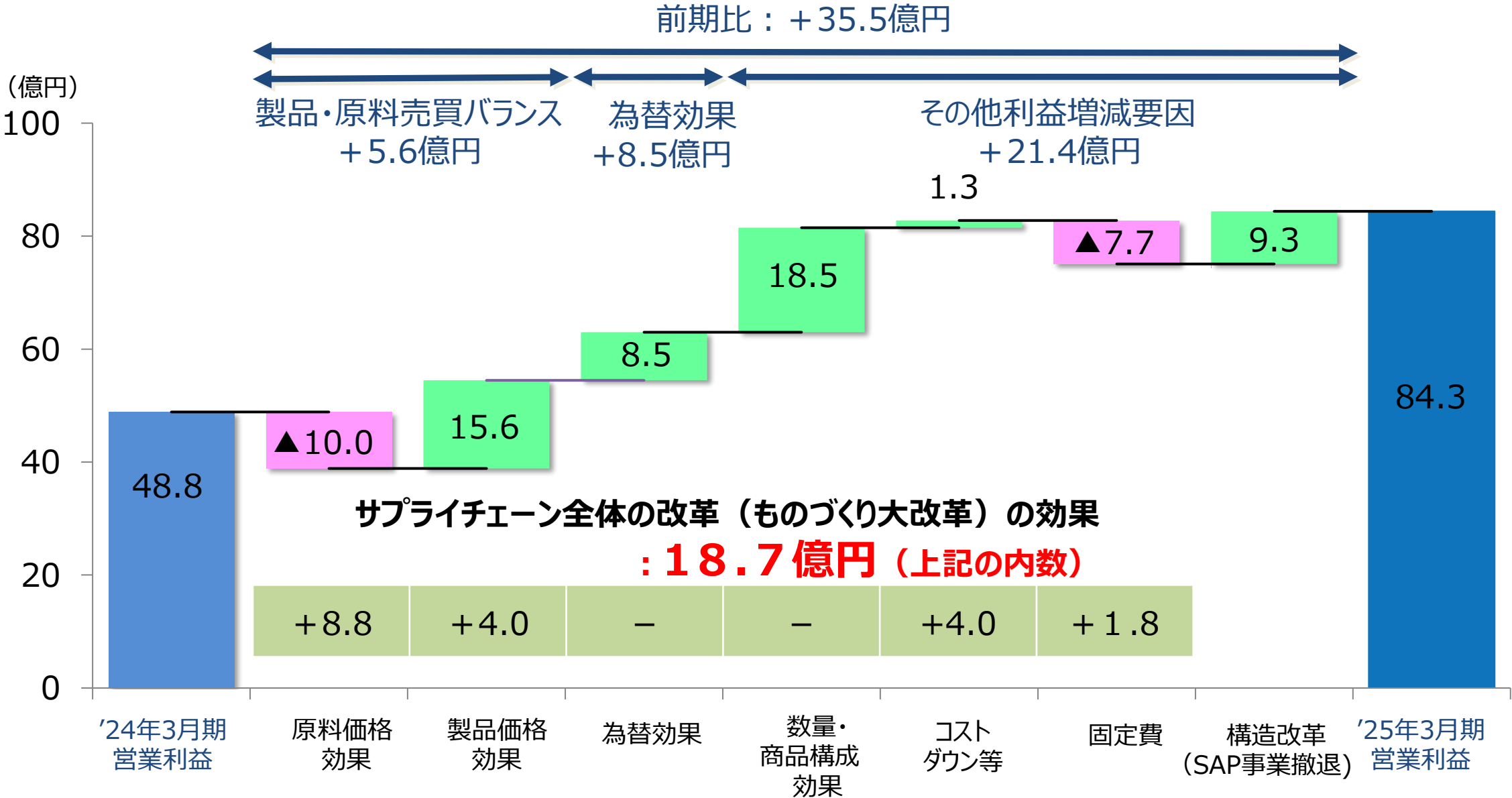
連 結	'24年3月期	'25年3月期	前期比	
			増減額	増減率
売上高	1,595.1	1,422.5	▲172.5	▲10.8
営業利益	48.8	84.3	35.5	72.7
経常利益	81.8	96.7	14.8	18.1
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲85.0	41.5	126.5	—
包括利益	▲33.9	7.2	41.2	—

連結産業分野別業績

(億円)

産業分野	売上高			営業利益		
	'24年3月期	'25年3月期	増減額	'24年3月期	'25年3月期	増減額
生活・健康産業関連	458.9	306.8	▲152.1	▲14.2	1.7	15.9
生活産業関連	131.2	144.1	12.8			
健康産業関連	327.6	162.6	▲164.9			
石油・輸送機産業関連	504.7	492.3	▲12.4	28.1	39.7	11.6
プラスチック・繊維産業関連	252.3	268.3	16.0	23.6	28.6	4.9
プラスチック産業関連	178.6	192.6	14.0			
繊維産業関連	73.7	75.7	2.0			
情報・電気電子産業関連	228.7	209.1	▲19.5	18.3	25.3	7.0
情報産業関連	138.2	104.5	▲33.7			
電気電子産業関連	90.4	104.6	14.1			
環境・住設産業関連他	150.3	145.9	▲4.3	5.3	0.0	▲5.3
新規事業に係る研究開発費				▲12.5	▲11.2	1.2
合計	1,595.1	1,422.5	▲172.5	48.8	84.3	35.5

連結営業利益の前期比増減要因



連結純利益の前期比増減要因

(億円)

	'24年3月期	'25年3月期	増減額
営業利益	48.8	84.3	35.5
持分法投資損益	2.2	7.4	5.2
為替差損益	17.1	▲5.2	▲22.3
その他営業外損益	13.6	10.0	▲3.5
経常利益	81.8	96.7	14.8
投資有価証券売却益、評価損	15.9	▲0.4	▲16.3
固定資産除却損	▲13.7	▲7.0	6.6
減損損失	▲32.3	▲3.0	29.2
構造改革費用	▲120.5	▲9.7	110.8
その他の特別損益	▲4.5	▲11.8	▲7.3
税金等調整前当期純利益	▲73.4	64.6	138.0
法人税等	▲12.9	▲15.5	▲2.6
非支配株主に帰属する当期純利益	1.3	▲7.5	▲8.8
親会社株主に帰属する当期純利益	▲85.0	41.5	126.5

連結貸借対照表

(億円)

	2024年 3月31日	2025年 3月31日	増減額	主な増減要因
流動資産	1,059	849	▲209	現金及び預金 (▲27)、商品および製品 (▲68)、受取手形及び売掛金・電子記録債権 (▲102)
固定資産	998	914	▲84	建物及び構築物 (▲12)、機械装置及び運搬具 (▲24)、ソフトウェア (▲11)、長期貸付金(▲12)
資産合計	2,058	1,763	▲294	
流動負債	535	303	▲231	買掛金・電子記録債務 (▲89)、短期借入金 (▲82)
固定負債	107	77	▲29	
負債合計	642	380	▲261	
株主資本	1,201	1,206	5	当期純利益 (41)、配当金支払 (▲37)
その他 包括利益	189	147	▲41	為替換算調整勘定 (▲44)
非支配株主持分	25	29	3	
純資産合計	1,415	1,383	▲32	
負債・純資産合計	2,058	1,763	▲294	

連結キャッシュフロー計算書

(億円)

	'24年3月期	'25年3月期	増減額	特記事項
営業活動CF	198	139	▲58	
税金等調整前純利益	▲73	64	138	
減価償却費	108	96	▲11	
減損損失	32	3	▲29	
構造改革費用	120	9	▲110	
投資有価証券売却益	▲20	▲0	19	
運転資金の増減	59	45	▲14	
法人税等	▲26	▲25	1	
事業構造改革に伴う支払	—	▲45	▲45	
その他	▲2	▲9	▲6	
投資活動CF	▲62	▲50	11	
フリーCF	135	88	▲47	
財務活動CF	▲40	▲118	▲78	
現金及び現金同等物に係る換算差額	6	▲1	▲7	
現金及び現金同等物の増減額	101	▲31	▲133	
現金及び現金同等物の期首残高	170	271	101	
現金及び現金同等物の期末残高	271	240	▲31	

	単位	'24年3月期	'25年3月期	前期比
総資産	億円	2,058	1,763	▲294
総資産経常利益率	%	4.0	5.1	1.1ポイント
自己資本	億円	1,390	1,353	▲36
自己資本比率	%	67.6	76.8	9.2ポイント
自己資本当期純利益率	%	▲6.0	3.0	9.0ポイント
ROIC	%	2.4	4.8	2.4ポイント

'26年3月期業績予想



<業績予想の前提条件>

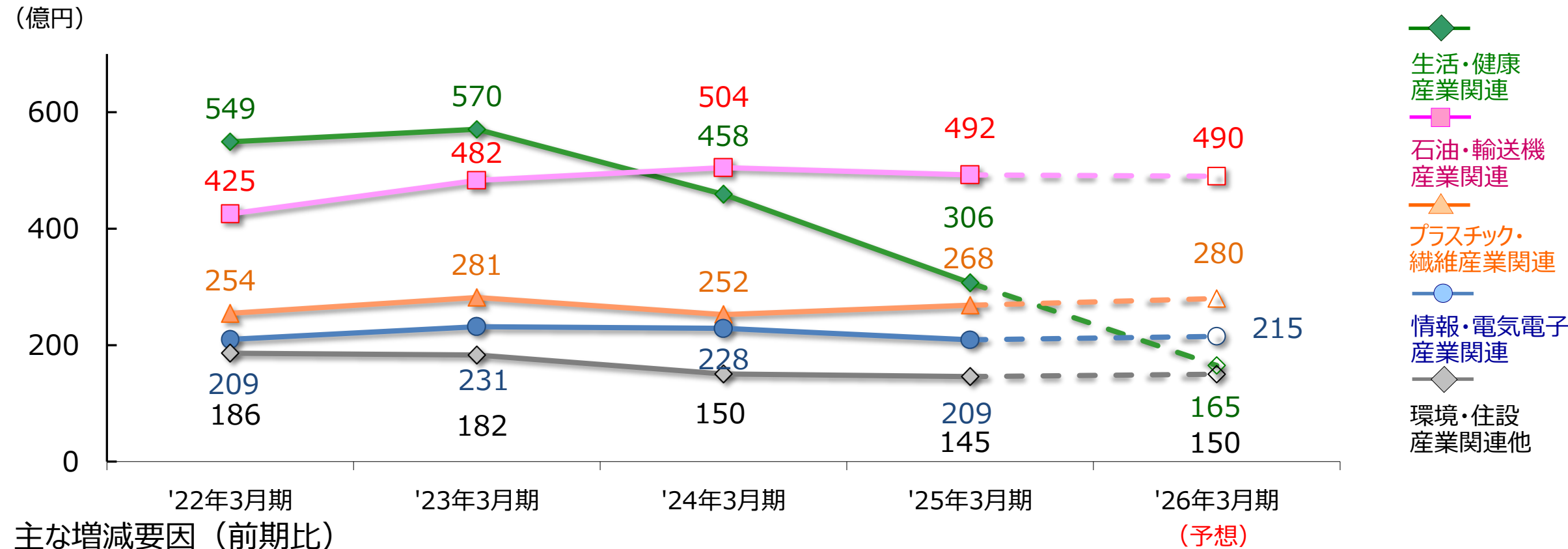
国産ナフサ価格：65千円／kl、為替レート：140円／ドル

トランプ関税の影響は軽微

(億円)

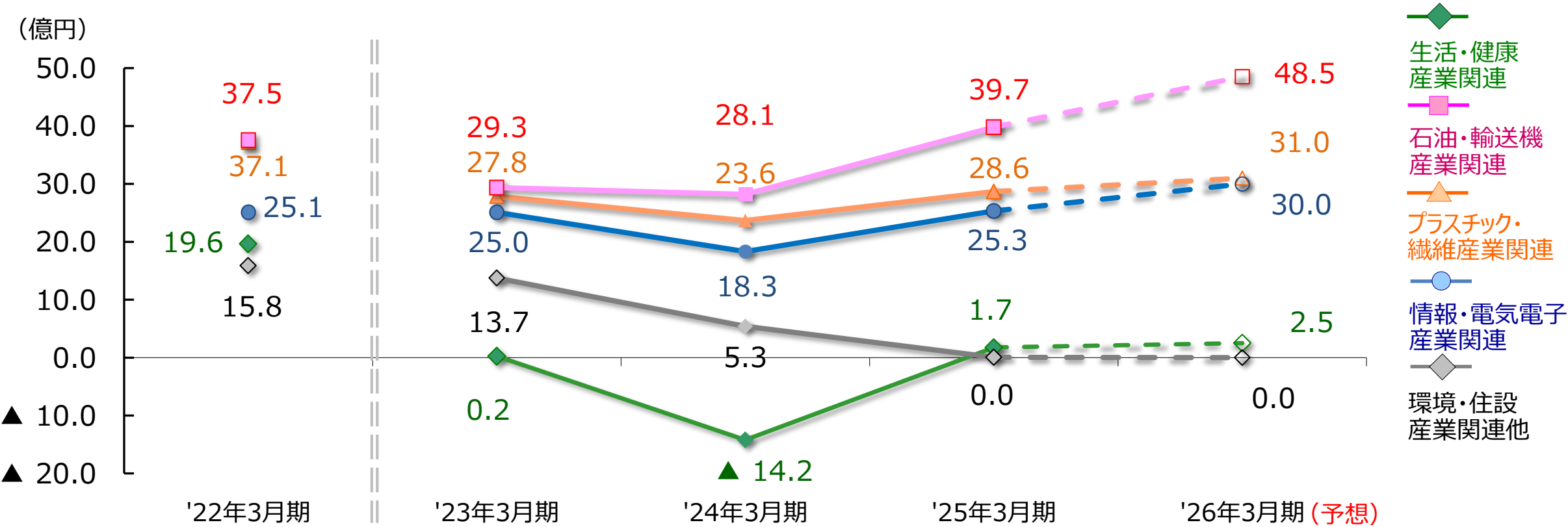
連 結	通 期			第2四半期（4-9月期）		
	'26年3月期 予想値	'25年3月期 実績	増減率 (%)	'26年3月期 第2四半期 予想値	'25年3月期 第2四半期 実績	増減率 (%)
売上高	1,300.0	1,422.5	▲8.6	620.0	770.3	▲19.5
営業利益	100.0	84.3	18.5	45.0	44.5	1.0
経常利益	110.0	96.7	13.8	50.0	49.9	0.2
親会社株主に帰属 する当期純利益	80.0	41.5	92.7	35.0	9.4	272.2

連結産業分野別売上高の推移



生活・健康	： ポリエチレングリコールの市況が国内外ともに回復。SAP撤退に伴い売上高は大幅減少。
石油・輸送機	： PPGが海外安価品の流入により低調、TUBも低調だったが、潤滑油添加剤の需要回復により、売上高は順調に推移。
プラスチック・繊維	： 永久帯電防止剤の需要回復により売り上げを伸ばし、塗料コーティング用薬剤・添加剤も堅調に推移。 タイヤコード糸等の製造時に使用される油剤が中国の需要回復に伴い大幅に増加。風力発電用風車向けの炭素繊維用薬剤も 復調したが、合成皮革用薬剤が低調で売上高横ばい。
情報・電気電子	： トナーバインダーの需要が回復傾向にある一方で、重合トナー用材料が中国での生産事業からの撤退等により売上高低調。 アルミ電解コンデンサ用電解液がEV市場の回復遅れにより売上高低調だが先端半導体関連材料は堅調に推移し売上高増。
環境・住設、他	： 高分子凝集剤用カチオンモノマーの国内市況が低迷。PPGおよび建築シーラント用原料の販売が回復し、売上高横ばい。

連結産業分野別営業利益の推移



* 一部勘定科目の取り扱いの変更を受け、'22年3月期以前は組み換え前、'23年3月期以降は組み換え後の数値を表示しております。

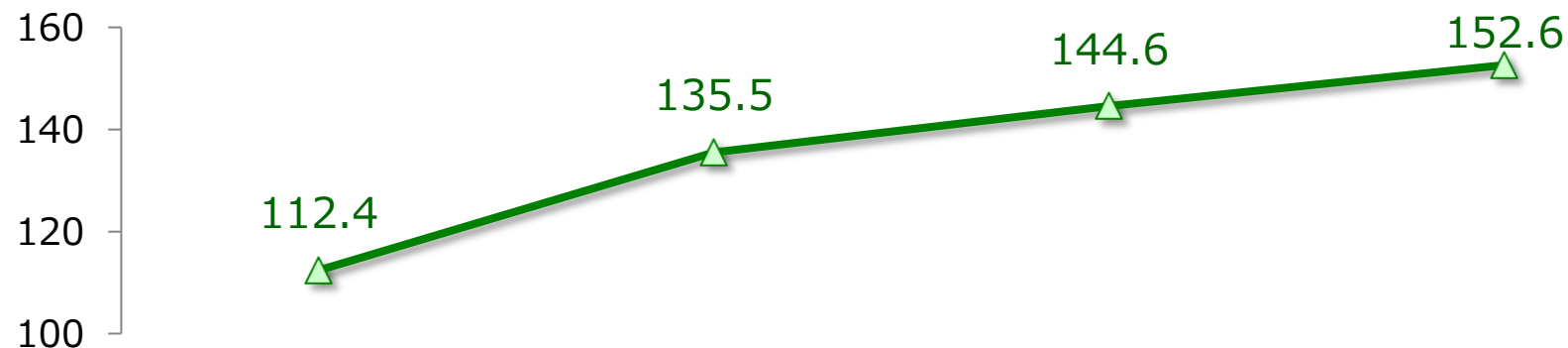
新規事業に係る研究開発費（億円）

'22年3月期	'23年3月期	'24年3月期	'25年3月期	'26年3月期 (予想)
▲16.7	▲15.0	▲12.5	▲11.2	▲12.0

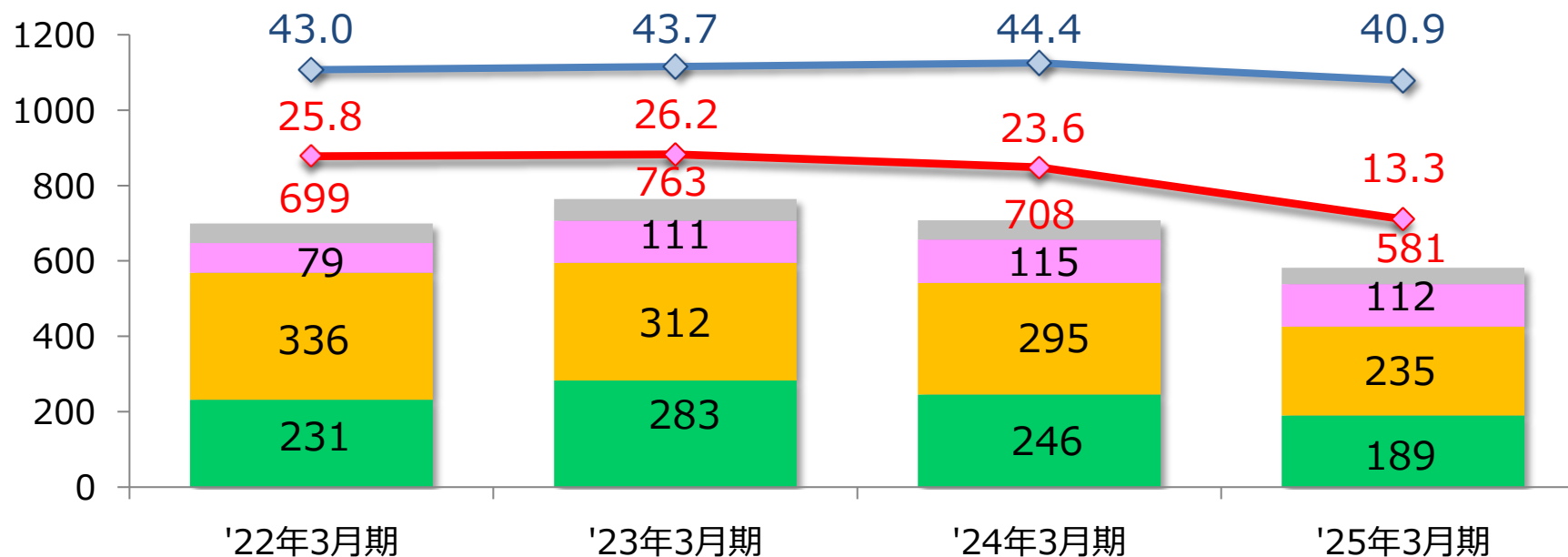
従来各報告セグメントに配分しておりました新規事業に係る研究開発費を全社費用として計上し、欄外に記載しております。

海外売上高の推移

為替（期中平均）（円 / \$）



売上高（億円）



海外売上高比率（%）



海外生産高比率（%）

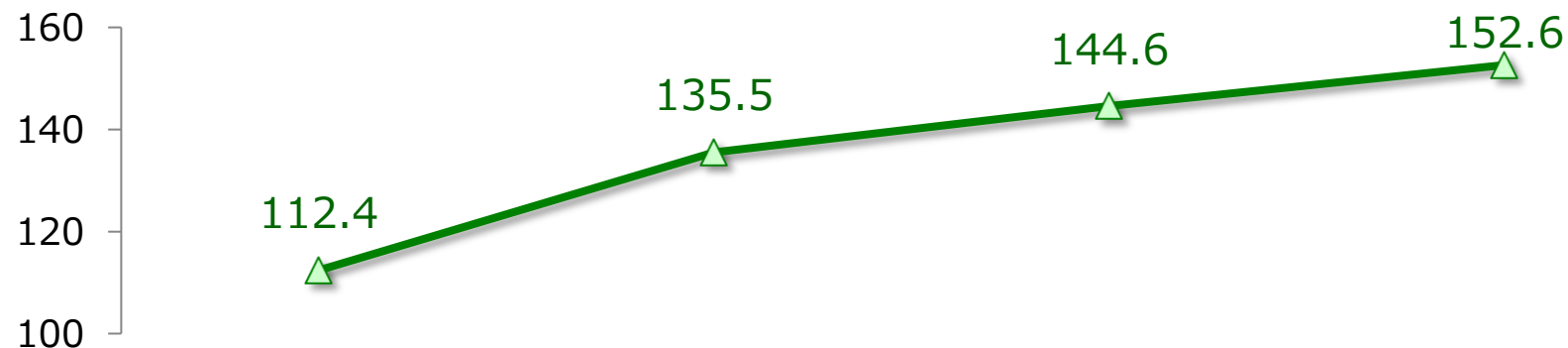


50
40
30
20
10
0

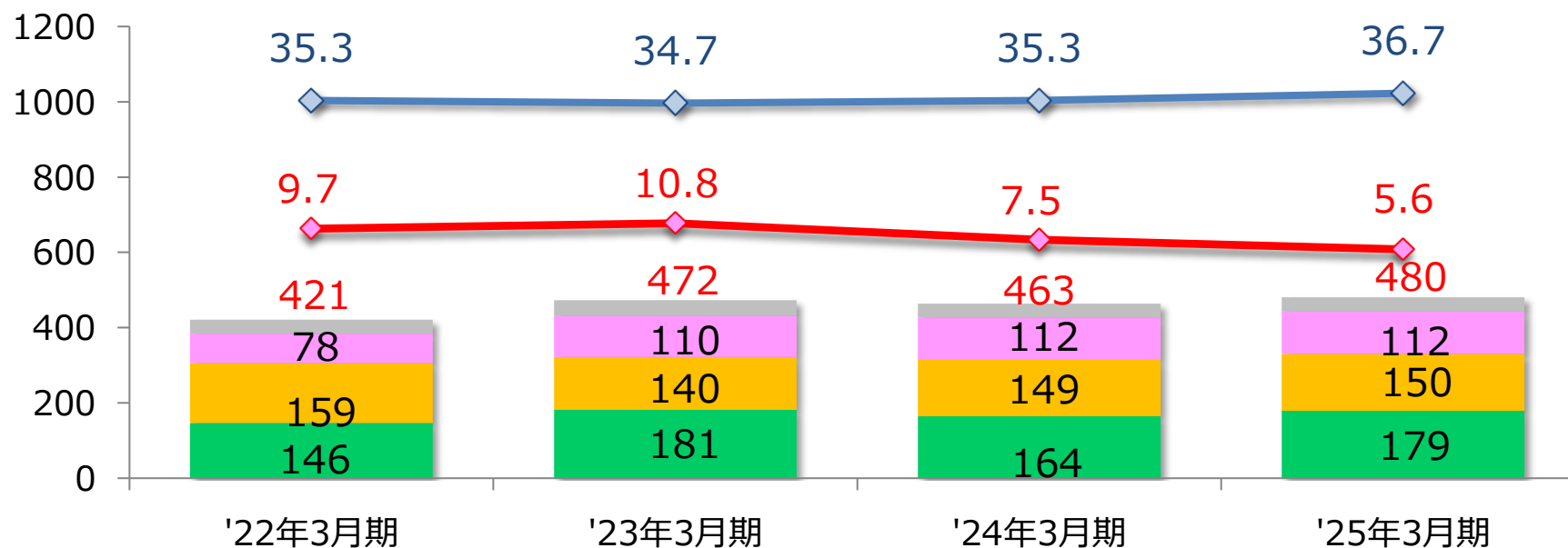


海外売上高の推移（SAP除）

為替（期中平均）（円 / \$）



売上高（億円）



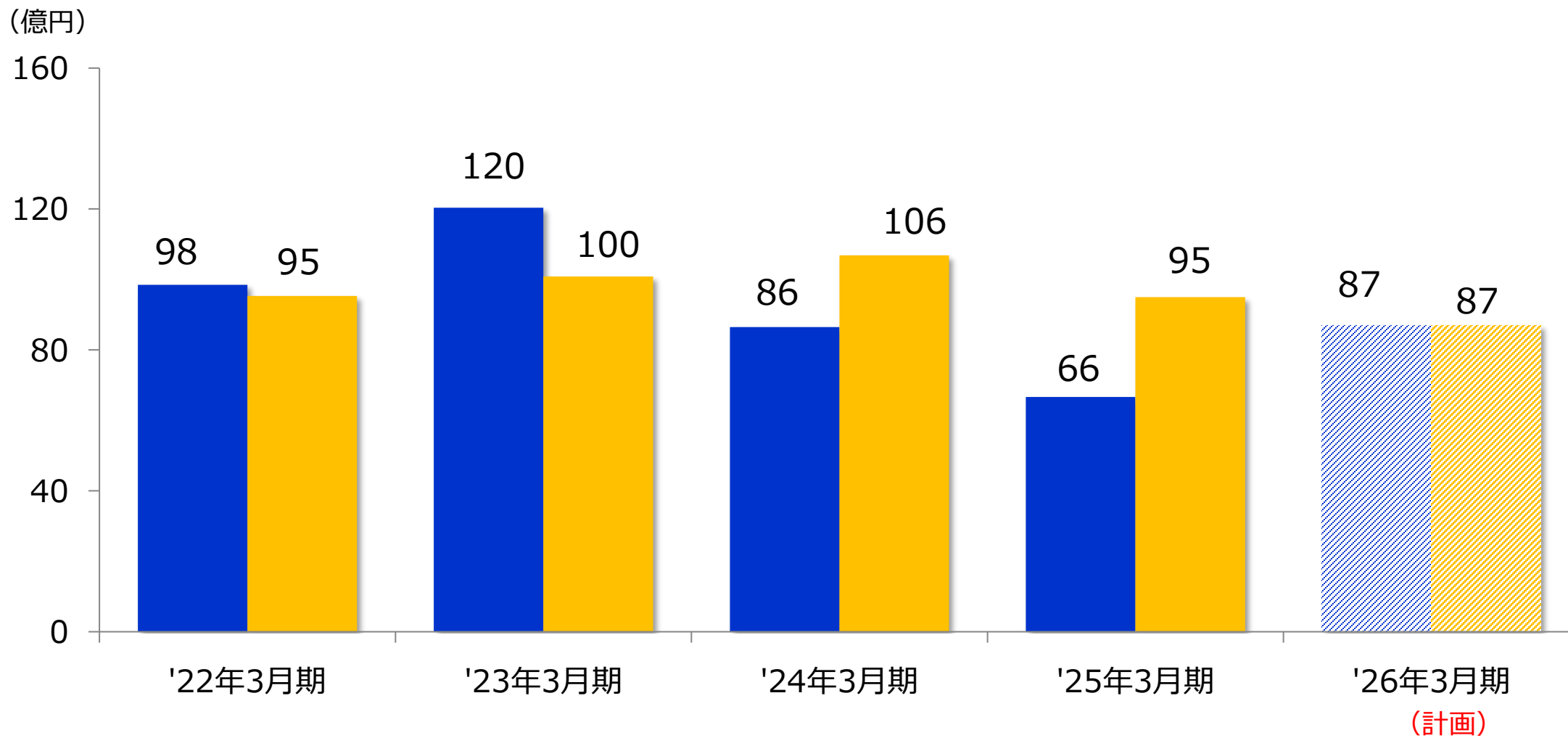
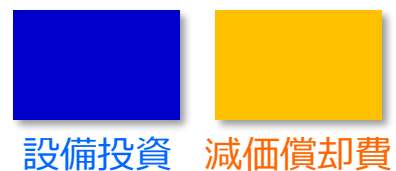
海外売上高比率（%）



海外生産高比率（%）



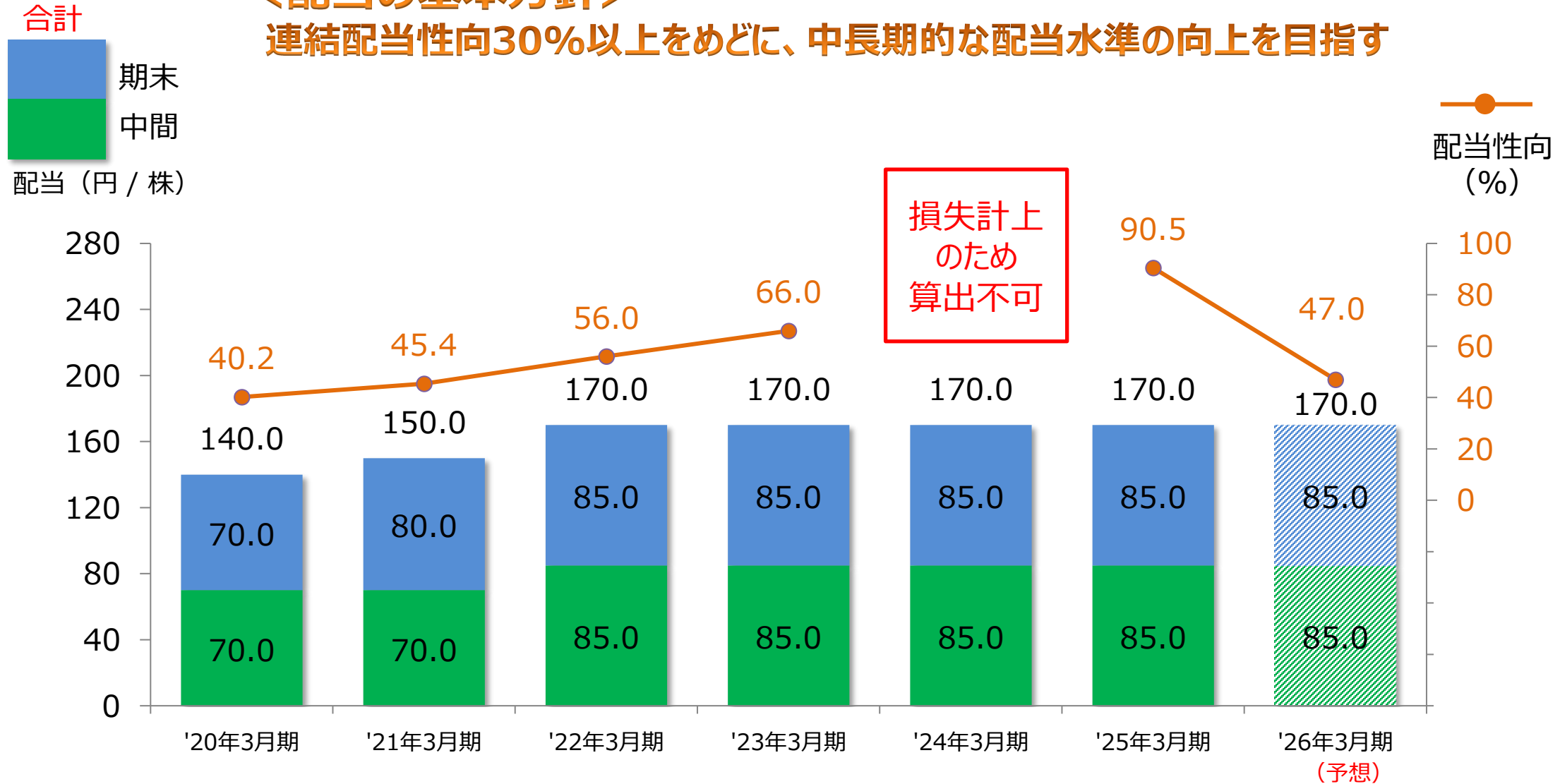
設備投資と減価償却（連結）



1株あたり配当と配当性向の推移（連結）

<配当の基本方針>

連結配当性向30%以上をめどに、中長期的な配当水準の向上を目指す





TOPICS

新中期経営計画2025の進捗状況

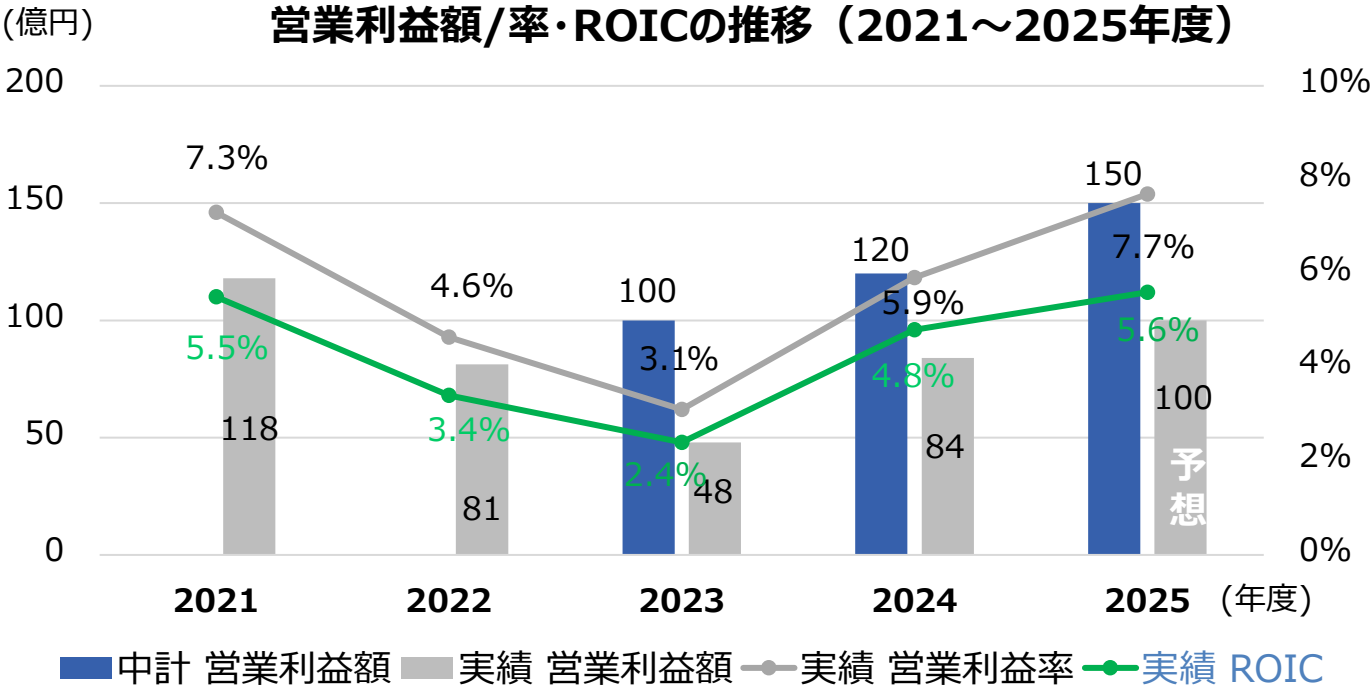
新中期経営計画2025の進捗



➤ SAP事業の撤退等により営業利益率は目標達成見込み。

新中期経営計画2025に掲げる基本方針

■ 事業戦略（2023～2025年度）		■ 将来に向けて	
基盤事業からの展開	高付加価値製品群へのリソース投入	新たな成長軌道	新規開発事業 CN関連、新規開発事業 QOL関連
基盤事業の見直し	基盤製品群の収益改善、サプライチェーン全体での効率化と収益改善、ウレタン事業・SAP事業の構造改革	社会課題の解決	CO2排出量削減、人権問題への対応
グローバル展開	海外での拡販推進	成長を支える仕組み	人財育成と職場環境の向上、安全をすべてに優先する経営透明性のある経営



営業利益額
FY25中計目標 150 億円 FY25予想 100 億円
営業利益率
FY25中計目標 7.5 % FY25予想 7.7 %
ROIC
FY25中計目標 7.0 % FY25予想 5.6 %

その他の重要指標の進捗

- CO2排出量の削減、政策保有株の縮減は概ね計画通りに進展
- その他指標については目標を下回る状況にあるため、次期中計に向けて実行計画の見直しを行う

3カ年累積投資額

設備投資ほか

3カ年累計目標 約**500**億円 3カ年累計予想 約**240**億円

研究開発への投資

3カ年累計目標 **170**億円 3カ年累計予想 約**160**億円

株主還元

配当水準

FY25中計目標 **170円**/株から向上 FY25予想 **170円**/株

社会課題の解決

CO2排出量の削減

FY30目標 **15.4**万トン以下 FY25予想 約**11.0**万トン

女性活躍推進

女性管理職比率

FY30目標 **15.0**%以上 25/4/30時点 **4.7**%

女性取締役比率

FY30目標 **30.0**%以上 FY24末時点 **25.0**%

その他の定量目標

PBR

FY30目標 **1.0**倍以上 25/5/15時点 **0.62**倍
株価：3,800円で計算

政策保有株の縮減

FY中計25目標 ▲**数10**億円 FY24末時点 ▲**21**億円

外部環境等	(億円)
中計期間増分目標（対22年度比）	+38.0
22年実績 vs 25年予想値	▲28.6
25中計目標値との差	▲66.6

中国経済低迷の長期化

- ・中国経済の回復に期待していたが、むしろ不動産市況が悪化し、かつ自動車需要も低迷したことにより、**建築・自動車塗料向けビジネスが停滞。**

中国における基礎化学品の増産による競争激化

- ・中国から極めて安価なポリウレタンフォーム原料の流入による価格競争の激化と商権喪失があり、世界自動車生産台数も伸び悩んだことから、大変な苦戦を強いられた

構造改革	(億円)
中計期間増分目標（対22年度比）	+ 10.0
22年実績 vs 25年予想値	+16.1
25中計目標値との差	+ 6.1

SAP事業、中国生産事業からの撤退

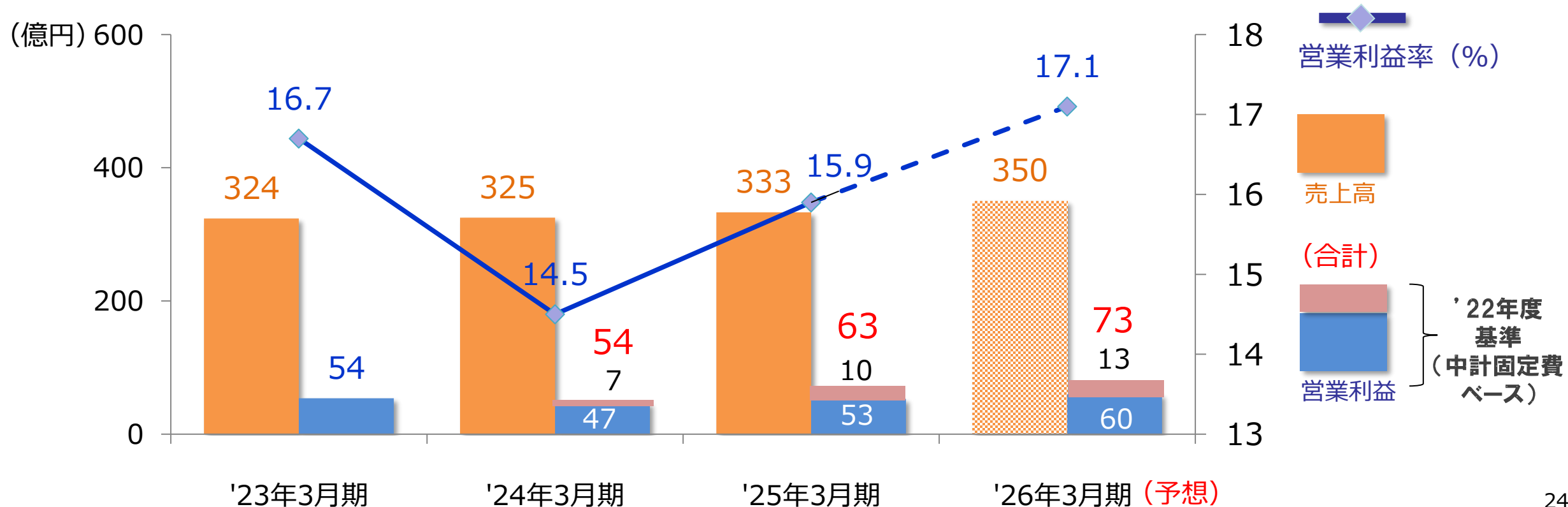
- ・ SDPM、SKNは稼働停止済み。25年度中に資産売却し清算手続き開始予定。
- ・ SDPは25年4月に三洋化成へ吸収合併を完了。

サプライチェーン全体の改革	(億円)
中計期間増分目標（対22年度比）	+30.0
22年実績 vs 25年予想値	+38.0
25中計目標値との差	+8.0

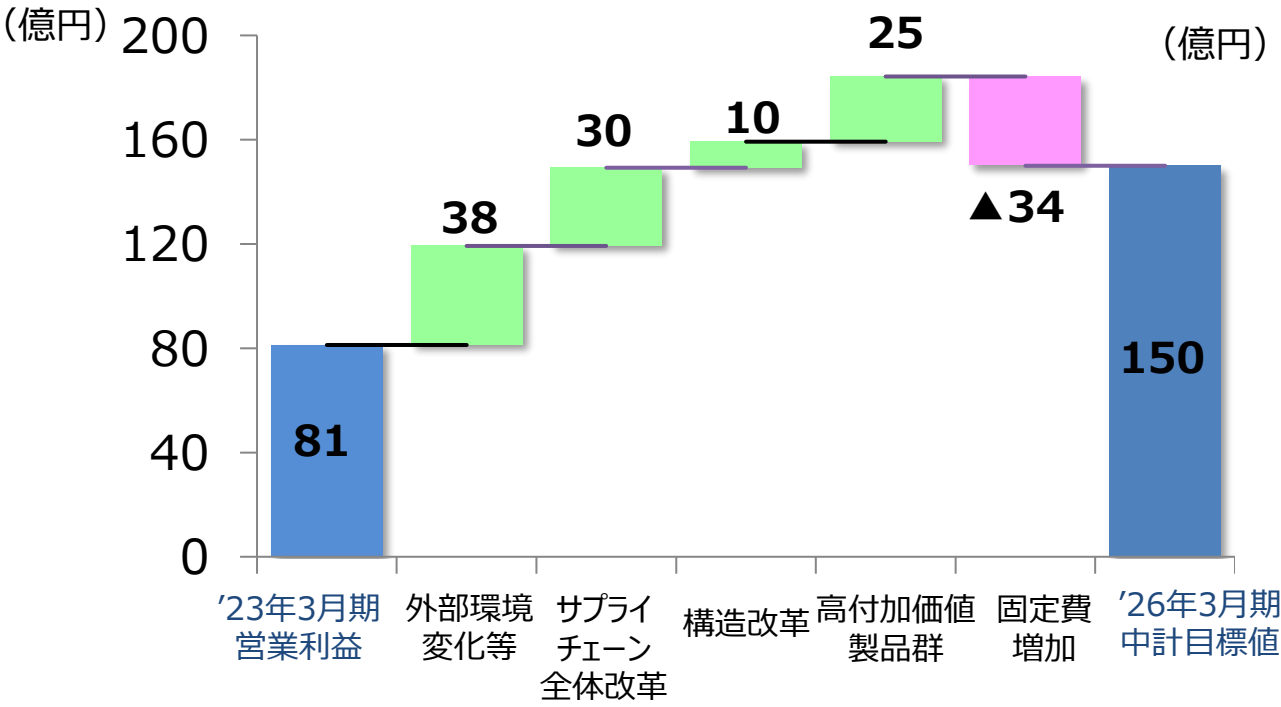
「ものづくり大改革」として取り組んでいる「サプライチェーン全体にわたるコスト削減」、については**24年度までで約31億円の改善効果あり。**
25年度で更に+7億円の改善を見込む

高付加価値製品群

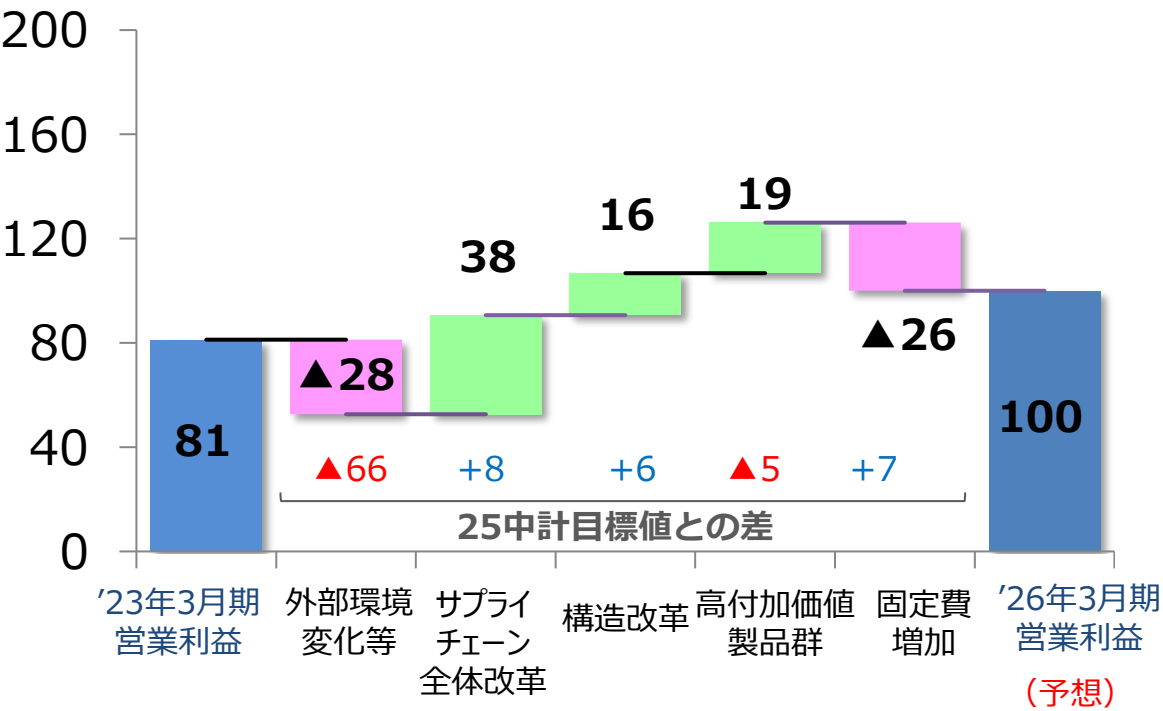
高付加価値製品群	(億円)
中計期間増分目標（対22年度比）	+ 25.0
22年実績 vs 25年予想値	+ 19.4
25中計目標値との差	▲5.6



‘23年3月期実績vs‘26年3月期中計目標値



‘23年3月期実績vs‘26年3月期業績予想



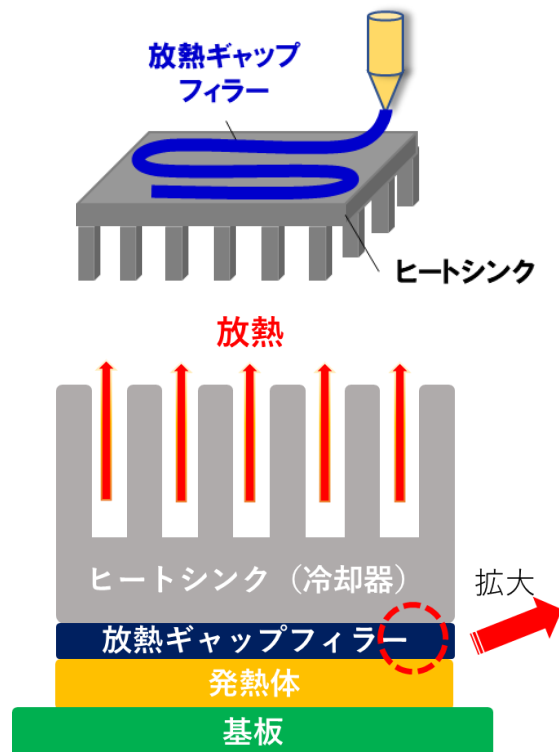


基盤事業・新規事業 TOPICS

放熱ギャップフィラー「サーマッップ HC-006」

低反力：電池パック製造時、筐体にかかる負荷を低減。放熱GF使用量低減に貢献

反応性：2液混合後、約1時間、低粘度を維持（電池パック生産工程対応）



放熱シートに比べ基板表面の微細な凹凸に追従。

ヒートシンク（冷却器）/heat sink

ギャップフィラー/Gap filler

発熱体/heat generating parts

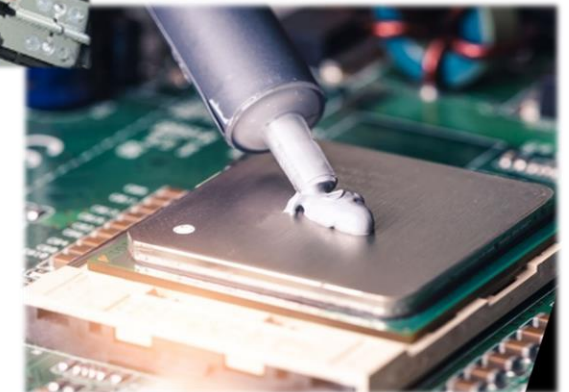
ヒートシンク（冷却器）/heat sink

放熱シート/heat dissipation sheet

発熱体/heat generating parts



車載用電池パック



電子部品

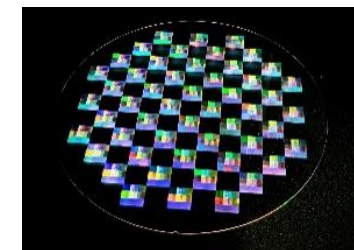
高屈折率UV硬化樹脂『HILUCIS(ハイルシス)』

■ 特徴

- ✓ 高屈折率 ($n_d=1.9$)
- ✓ UV硬化型
- ✓ 高透明性、低ヘーズ
- ✓ 紫外可視光に対する高耐光性
- ✓ 優れたナノインプリント成型性

■ 想定用途

- ✓ AR/スマートグラス
- ✓ 反射防止コーティング
- ✓ 回折光学素子（DOE）

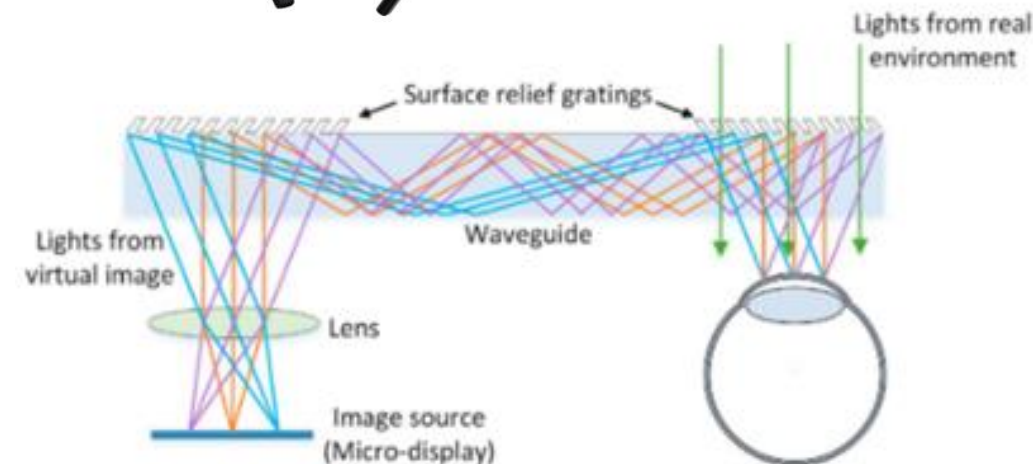


■ 従来品との耐光性比較

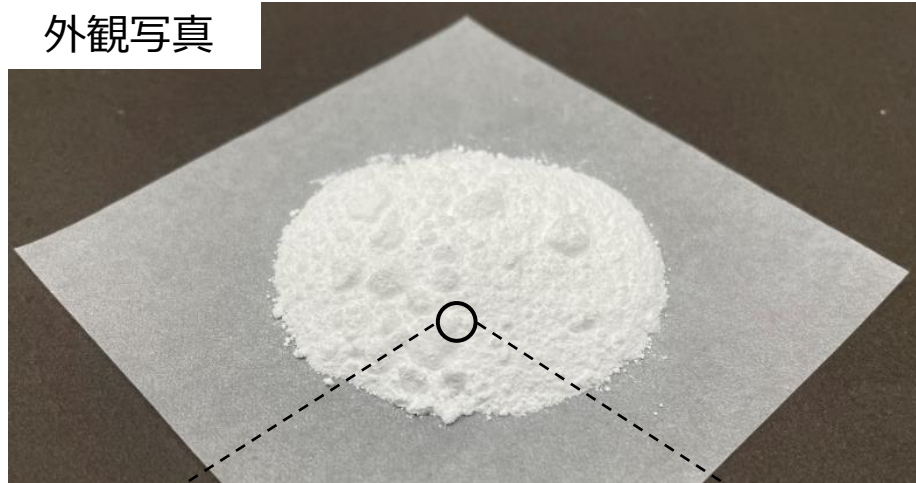


当社開発品

従来酸化チタン含有品
(試験後 黄変あり)

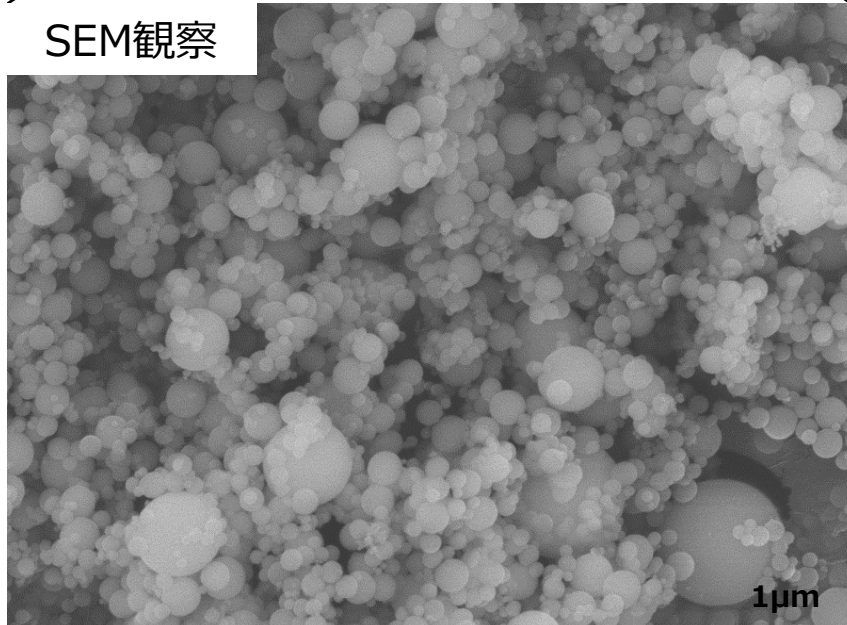


外観写真



拡大

SEM観察

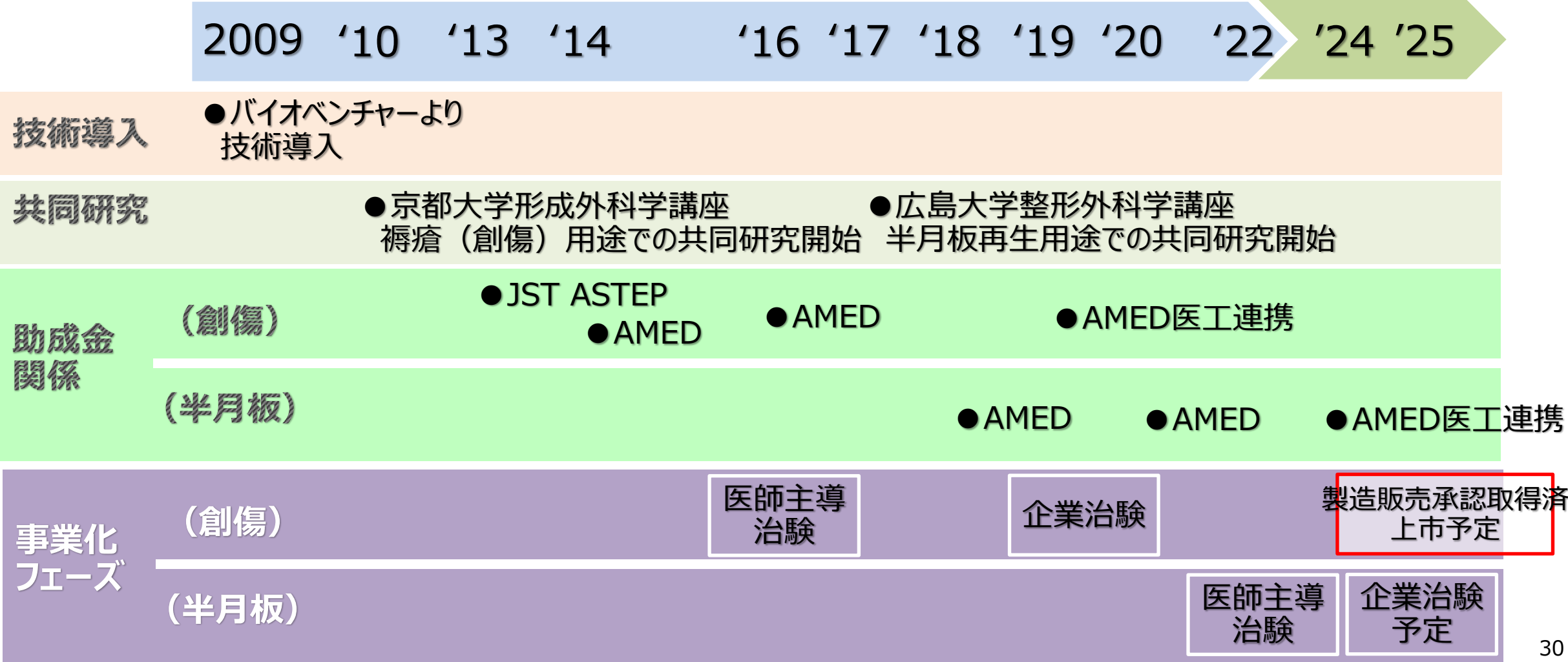


ソリエマー（シリルシリカ）を加えることで、乳化粒子径が大きくかつ乳化安定性の高いピッカリングエマルジョン（O/W）を形成

⇒みずみずしく、良い使用感へ



2009年に技術導入し、大腸菌生産菌株ならびに培養・精製の処方を得て、開発検討を開始



共同研究パートナー：京都大学大学院医学研究科形成外科

慢性創傷（糖尿病性足潰瘍等）や急性創傷（熱傷等）は、日本国内で120,000例以上であり、高齢化に伴い、難治化を含めて増加傾向

日本の糖尿病患者数 : 316万6,000人
糖尿病下腿潰瘍の有病率 : 1.5~10% (発生率 : 2.2~5.9%)

重症化（足切断）患者 : 1万人/年

(日本糖尿病学会ガイドライン2017)

京都大学附属病院・・・糖尿病患者数 : 1万2735人/年
(2015年 京都大学医療情報部調べ)

	シルクエラスチン	従来法①*1	従来法②*2
急性創傷	100%	60%	32%
慢性創傷	90%	34%	—

従来治療では治癒が期待できなかった傷に対して、急性創傷にて**100%**、慢性創傷において**90%**の治癒効果が得られた

医師主導治験・企業治験での良好な結果

創傷治癒力とハンドリング性の良さから競合と位置付ける医療機器（NPWT、人工真皮）の置き換えを狙う

*1:局所陰圧閉鎖療法（NPWT）、*2:人工真皮



シルクエラスチン貼付前



シルクエラスチン貼付14日後

2024年9月末に科研製薬株式会社と、日本国内における独占的販売権に関するライセンス契約を締結。本年4月に製造販売承認を取得し、本年度内に保険償還と上市を目指す。

新たな成長軌道（新規事業の状況）

事業領域		名称等	研究	コンセプト 確立	量産化	事業化
カーボンニュートラル (CN) への貢献	カーボンリサイクル	CCU (CO ₂ 有効利用)	イオン液体等を活用したCCU検討中			
	農業	ペプチド資材	植物由来ペプチド(初製品)の肥料登録完了			
生活の (QOL) の向上	診断	エクソソーム精製技術 『EXORPTION®』	細胞外小胞(EV)研究支援キット販売開始			
	体外診断用 医薬品	アキュラシード	富士フイルム三洋化成ヘルスケアへの 生産集約による効率化			
	創傷治癒材・ 半月板再生材	シルクエラスチン®	創傷治癒材の製造販売承認の取得 半月板再生材の企業治験準備開始			
	デジタル嗅覚	匂いセンサー 『FravoTone』	匂いセンサー卓上機、小型機の販売・レンタル開始			



参考資料

産業分野別主要製品

大分類	中分類	主要製品
生活・健康 産業関連	生活産業関連	洗剤・洗浄剤用界面活性剤、ヘアケア製品用界面活性剤、製紙用薬剤
	健康産業関連	医薬品原料、殺菌消毒剤、外科用止血材、EIA（酵素免疫測定法）用臨床検査薬、人工腎臓用ポッティング材
石油・輸送機産業関連		自動車内装表皮材用ウレタンビーズ（TUB）、ポリウレタンフォーム用原料（PPG）、潤滑油添加剤、燃料油添加剤、水溶性切削油、非ハロゲン系洗浄剤、合成潤滑油ベース、デザインモデル製作用盛り付け樹脂、自動車塗料用樹脂
プラスチック ・繊維 産業関連	プラスチック 産業関連	永久帯電防止剤、顔料分散剤、樹脂改質剤、塗料用樹脂、消泡剤、ポリウレタンエラストマー原料、モデル製作用合成木材
	繊維産業関連	繊維製造用薬剤、炭素繊維用薬剤、ガラス繊維用薬剤、人工皮革・合成皮革用ウレタン樹脂
情報 ・電気電子 産業関連	情報産業関連	重合トナー用材料、トナーバインダー
	電気電子 産業関連	アルミ電解コンデンサ用電解液、電子材料用粘着剤、電子部品製造工程用薬剤、UV・EB硬化樹脂
環境・住設産業関連他		廃水処理用高分子凝集剤、カチオンモノマー、家具・断熱材用PPG、泥水用薬剤、反応性ホットメルト接着剤、建築シーラント用原料、セメント用薬剤



三洋化成グループ

国内

- サンノプコ（株）
- サンケミカル（株）

- サンアプロ（株）

- （株）サン・ペトロケミカル

海外



- 三洋化成（上海）貿易有限公司



- 韓国三洋化成（株）



- Sanyo Kasei (Thailand) Ltd.



- Sanyo Chemical America Incorporated
- Sanyo Chemical Texas Industries, LLC
- Sunrise Chemical LLC

物流・サービス

- 三洋化成ロジスティクス（株）
- 塩浜ケミカル倉庫（株）

その他の子会社・関連会社：

台湾三洋化成股份有限公司 韓国三洋化成製造（株） San Nopco (Korea) Limited
San Nopco (Shanghai) Trading Co., Ltd. DaXiang International Trading (Shanghai) Co., Ltd.

国内生産拠点



京都工場・本社・研究所
(東山区、約2.6万m²)



鹿島工場
(茨城県神栖市、約13.0万m²)



名古屋工場
(愛知県東海市、約10.0万m²)



衣浦工場
(愛知県半田市、約14.0万m²)



サンケミカル 川崎工場
(神奈川県川崎市、約1.1万m²)



 Sanyo Kasei (Thailand) Ltd.



韓国三洋化成製造株式会社



Sanyo Chemical Texas Industries, LLC

海外営業拠点

 三洋化成(上海)貿易有限公司
San Nopco (Shanghai) Trading Co., Ltd.
DaXiang International Trading (Shanghai) Co., Ltd.



 韓国三洋化成株式会社
San Nopco (Korea) Limited

 Sanyo Chemical America Inc.



 台灣三洋化成股份有限公司

 Sanyo Kasei (Thailand) Ltd.

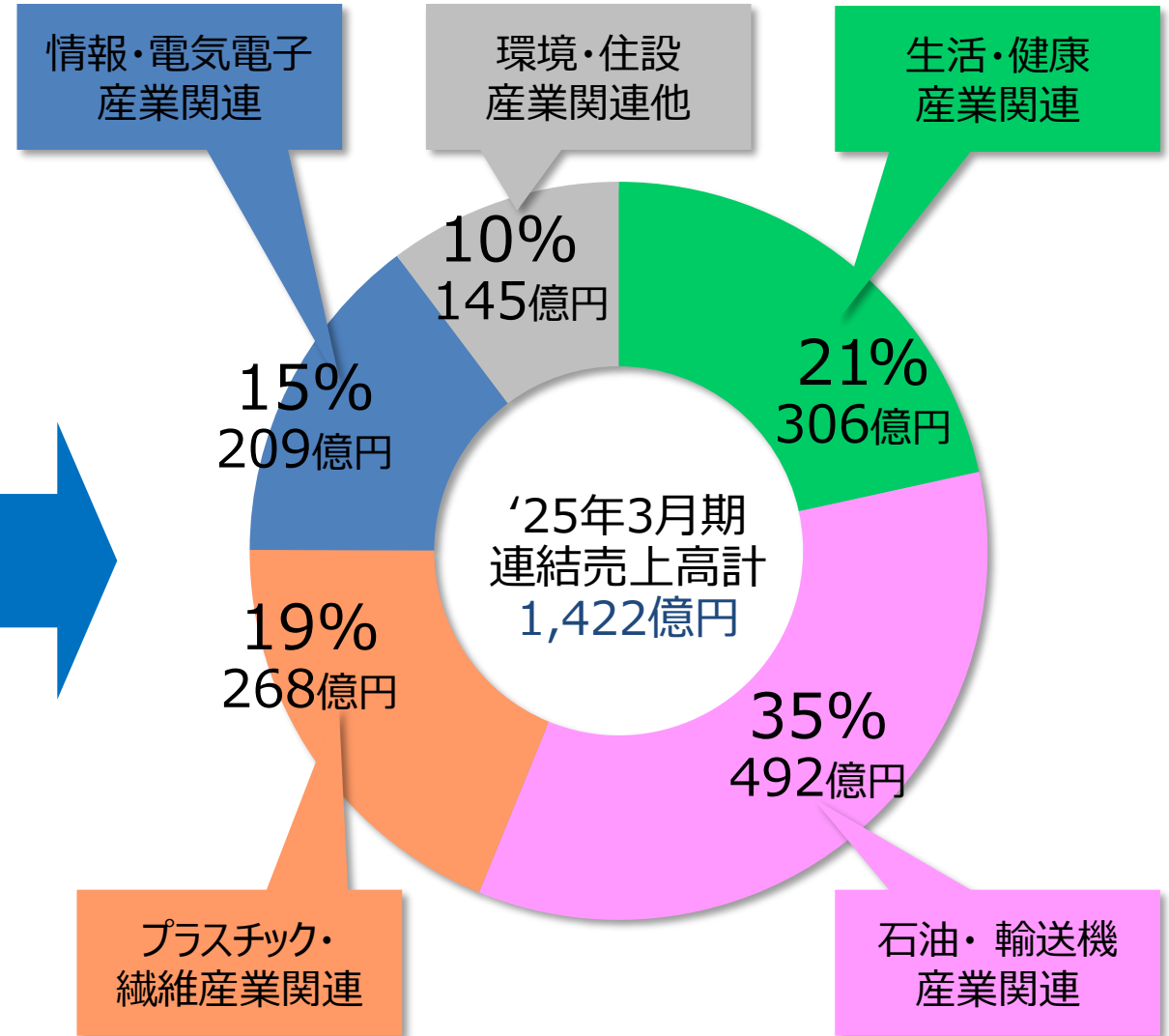
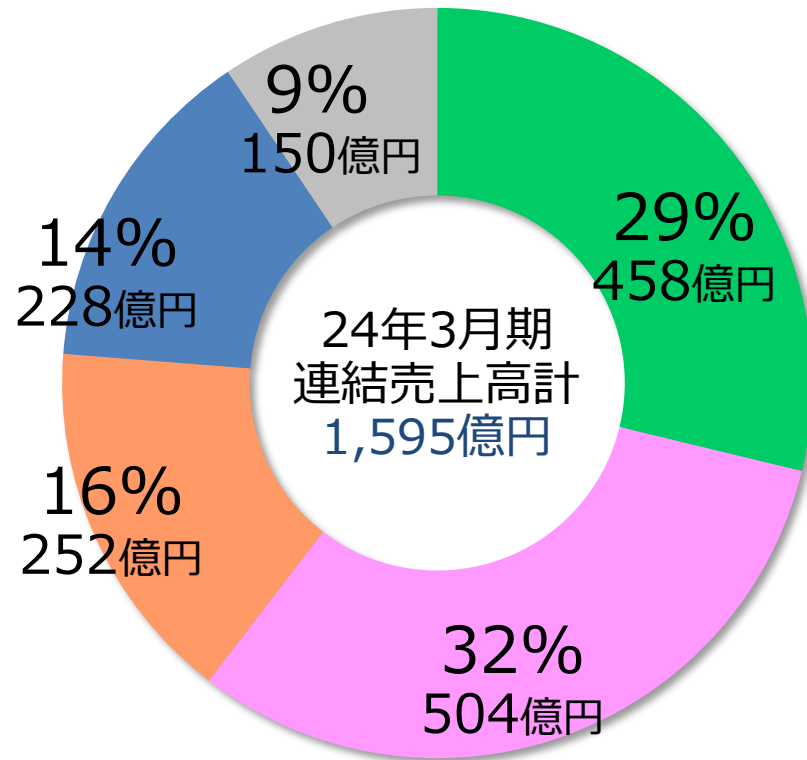


会社名	略号	議決権所有割合		事業内容
サンノプロ(株)	SNL	三洋化成工業(株)	100%	紙・パルプ薬剤、塗料用薬剤、各種工業用薬剤等の製造販売
サンケミカル(株)	SCC	三洋化成工業(株) ENEOS(株)	50% 50%	ポリウレタンフォーム用原料等の製造
サンアプロ(株)	SA	三洋化成工業(株) Iホニック・インターナショナル ホールディング B.V.	50% 50%	エポキシ樹脂硬化促進剤、ウレタン化反応触媒等の製造販売
三洋化成ロジスティクス(株)	三洋ロジ	三洋化成工業(株)	100%	運送業・倉庫業

会社名	所在国	略号	議決権所有割合		事業内容
三洋化成（上海） 貿易有限公司	中国	SCST	三洋化成工業(株)	100%	界面活性剤、 ウレタン樹脂等の販売
Sanyo Kasei (Thailand) Ltd.	タイ	SKT	三洋化成工業(株) VIV, 豊田通商(株)ほか	79% 21%	界面活性剤、ウレタン樹脂 等の製造販売
Sanyo Chemical America Incorporated	米国	SCA	三洋化成工業(株)	100%	米国子会社の統括会社、 潤滑油添加剤、ウレタン ビーズ等の販売
Sanyo Chemical Texas Industries, LLC	米国	SCTI	Sanyo Chemical America Incorporated	100%	ウレタンビーズの製造
韓国三洋化成株式会社	韓国	SKK	三洋化成工業(株)	100%	潤滑油添加剤、 界面活性剤等の販売

会社名	略号	議決権所有割合		事業内容
(株)サン・ペトロケミカル	SPCC	三洋化成工業(株) (株)ENEOSマテリアル	50% 50%	合成ゴム原料の製造
Sunrise Chemical LLC [米国]	SRC	Sanyo Chemical America Incorporated ニッポン・ケミカル・テキサス	50% 50%	合成ゴム原料の製造
塩浜ケミカル倉庫(株)	塩ケミ	三洋化成工業(株) (株)ENEOSマテリアル	50% 50%	倉庫業

連結産業分野別売上高構成



高付加価値製品群、基盤製品群



(億円,%)

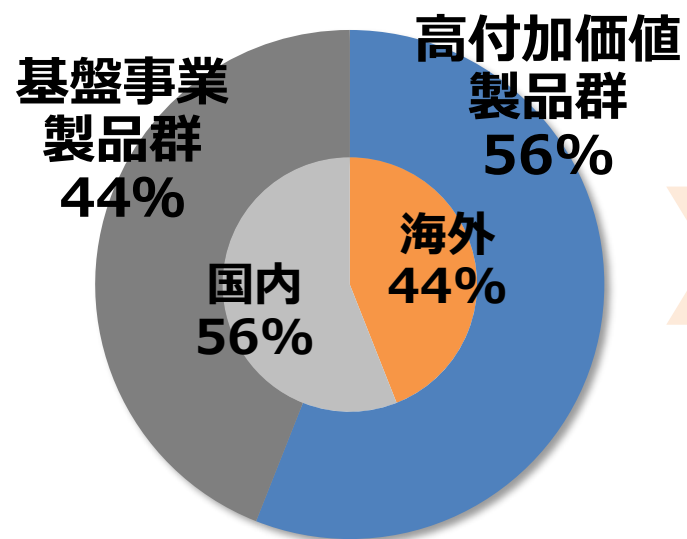
高付加価値 製品群	2024年3月期	2025年3月期	前期比	
			増減額	増減率
売上高	325	333	8	3
営業利益	47	53	5	12

(億円,%)

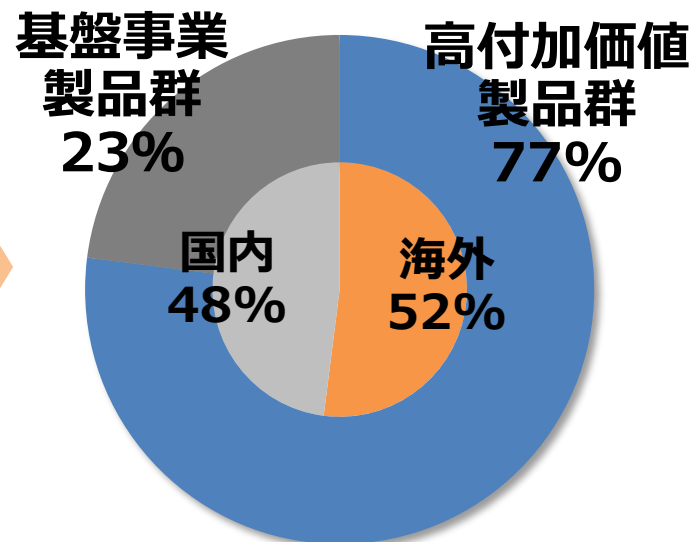
基盤 製品群	2024年3月期	2025年3月期	前期比	
			増減額	増減率
売上高	1,269	1,089	▲ 180	▲ 14
営業利益	13	42	28	209

海外営業利益構成比率

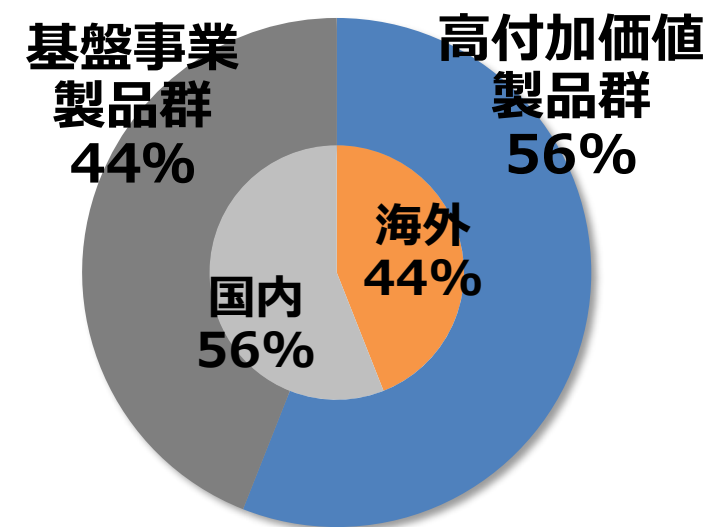
2022年度営業利益
81.2億円



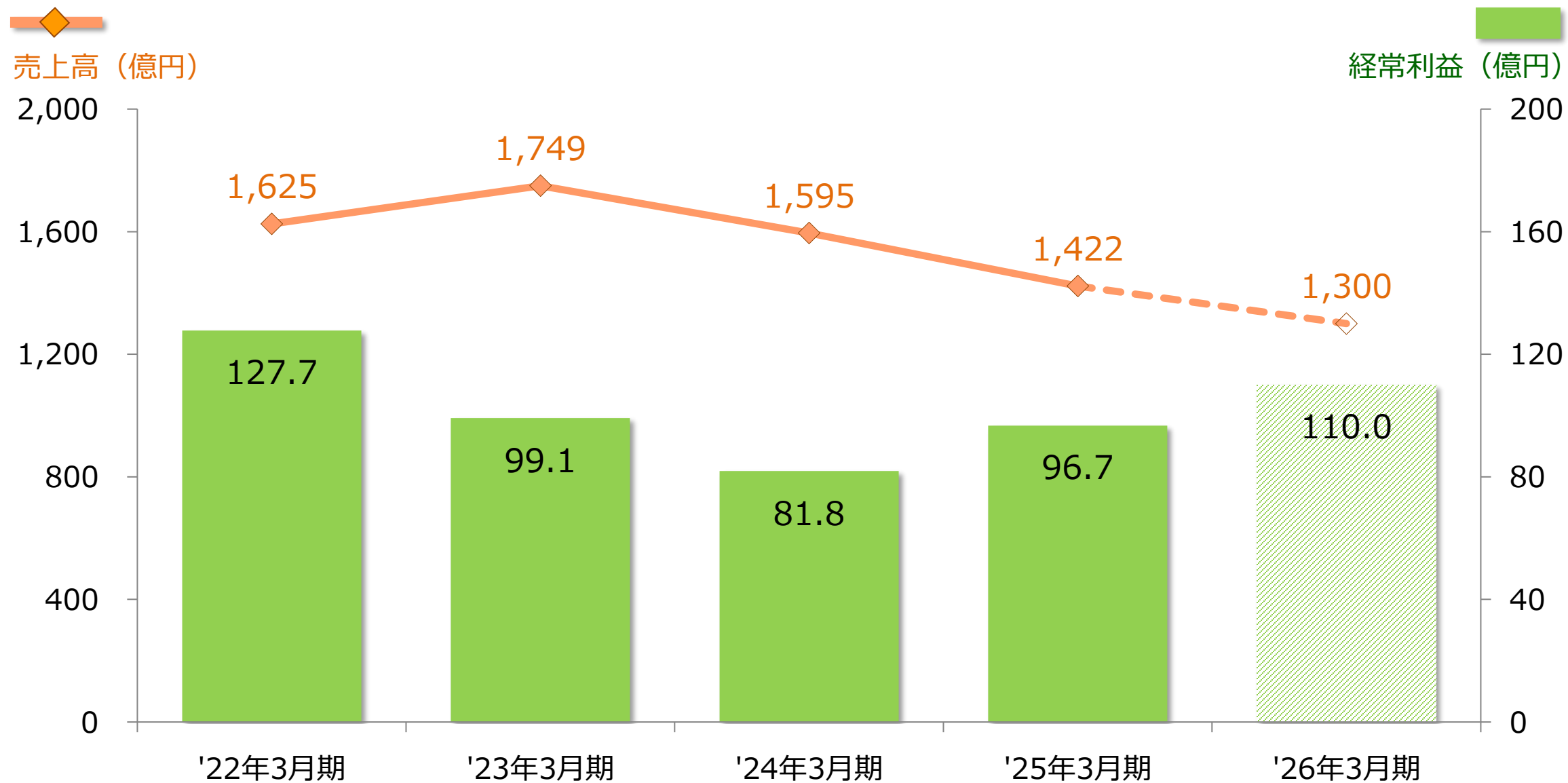
2023年度営業利益
48.8億円



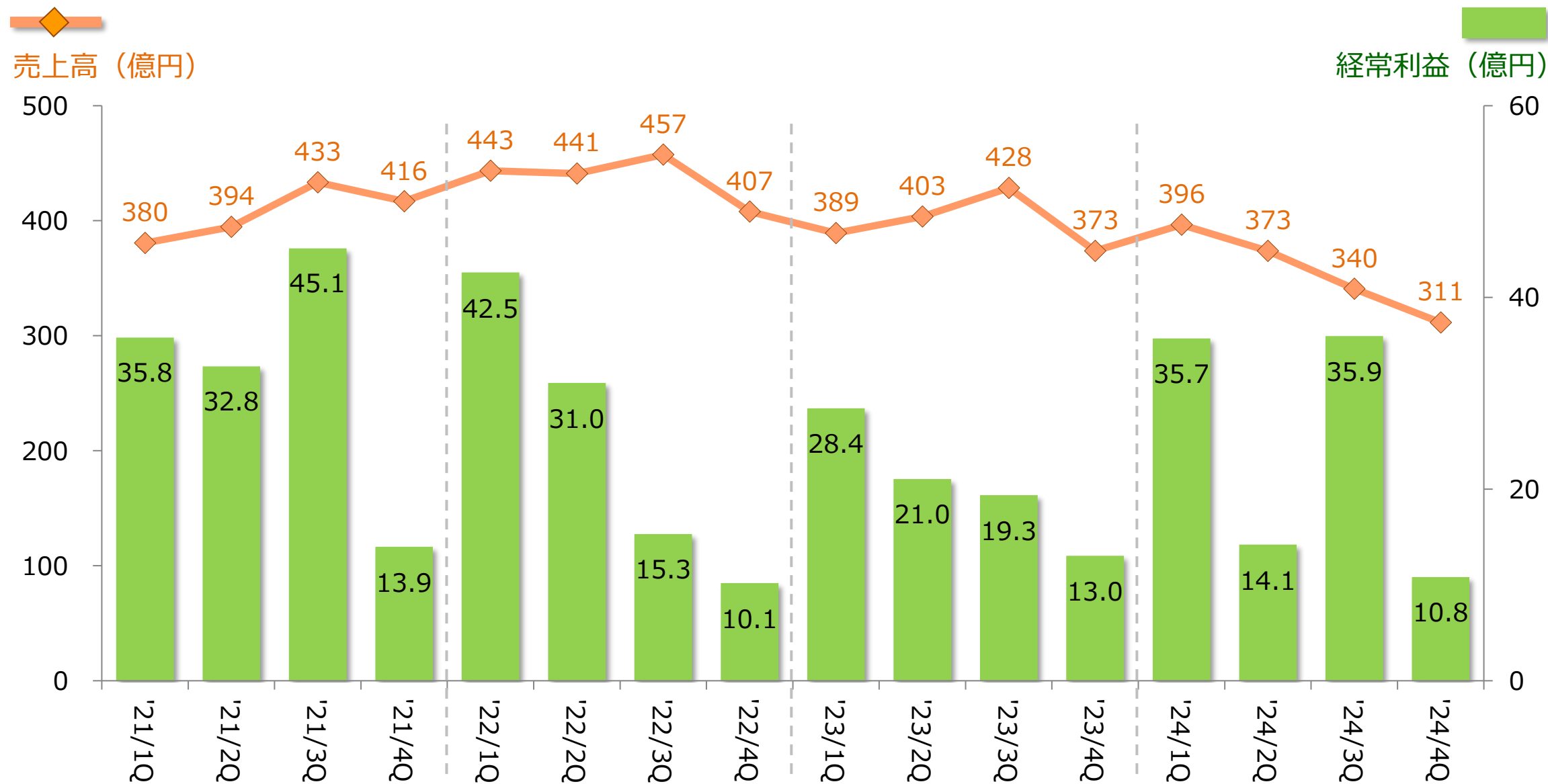
2024年度営業利益
84.3億円



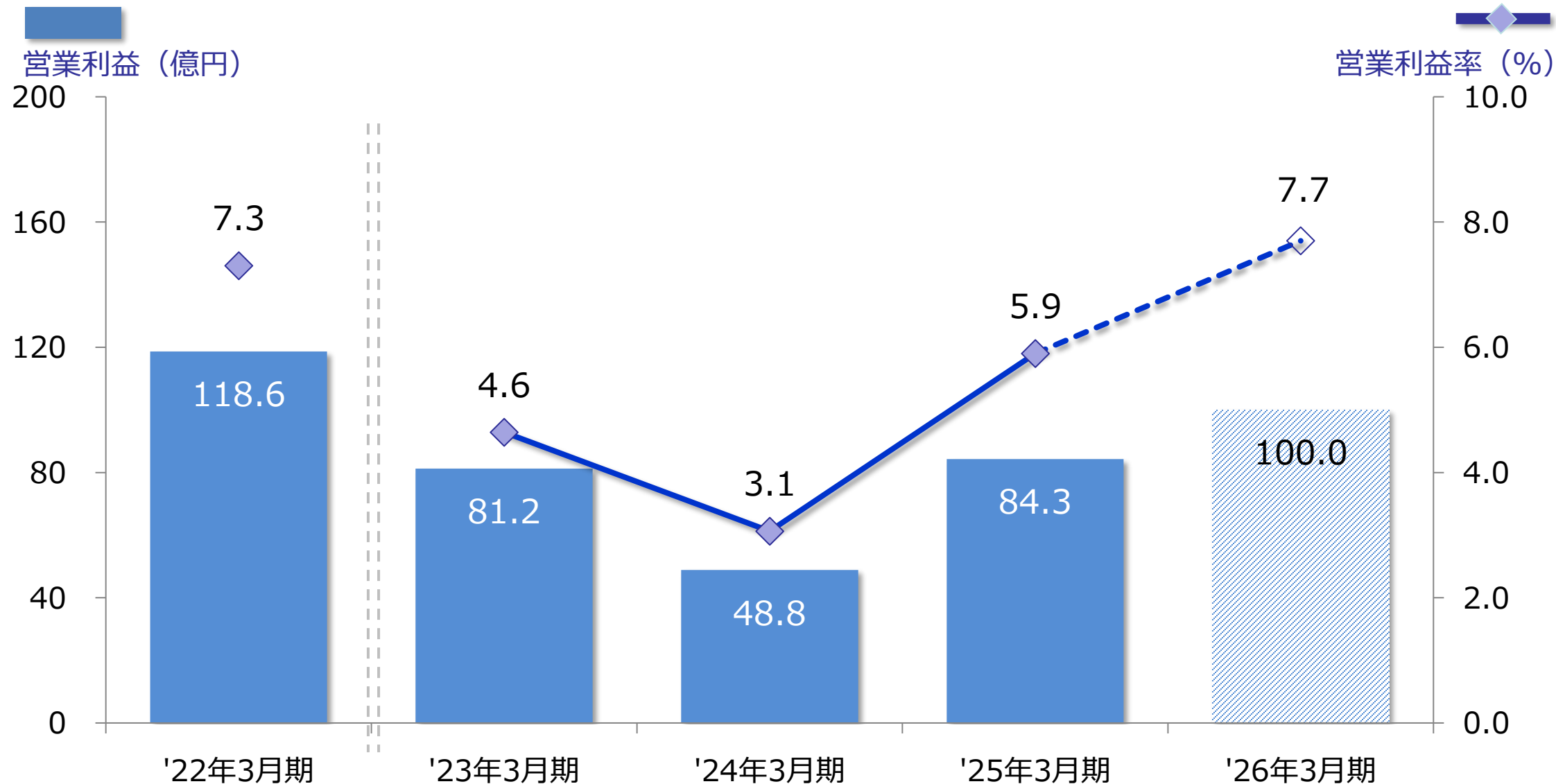
連結業績の推移



連結業績の推移（四半期）

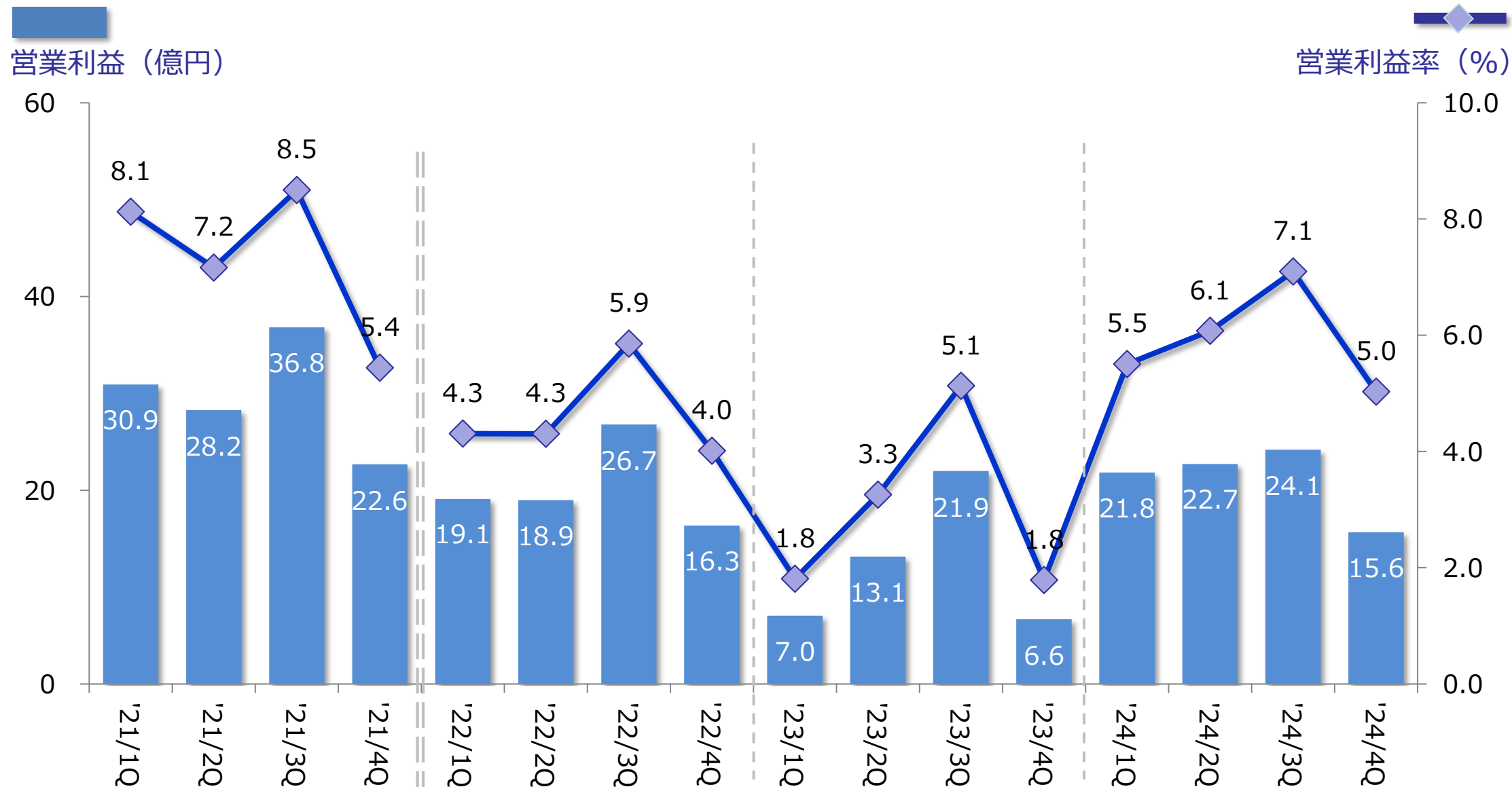


連結営業利益（同率）の推移



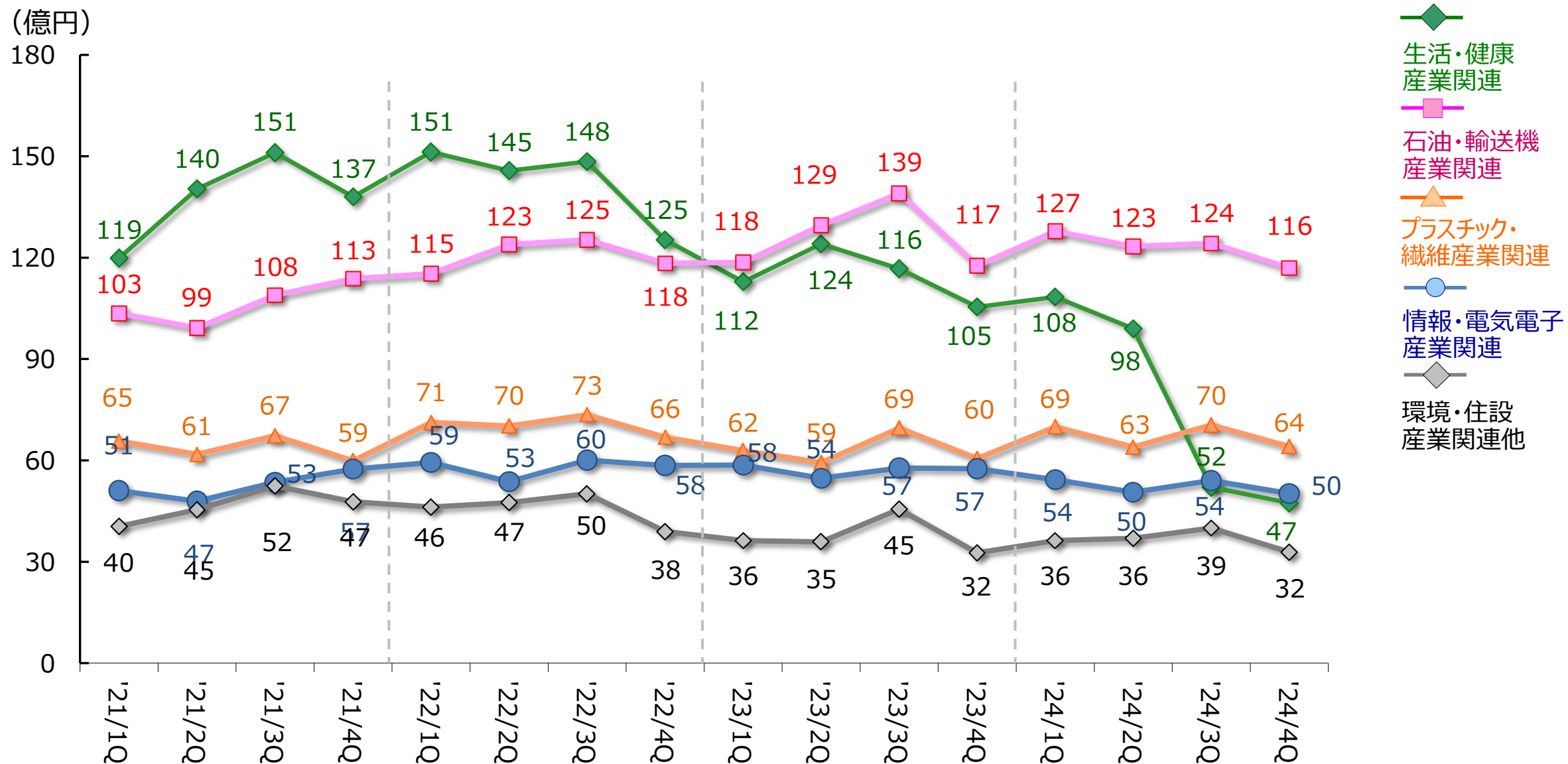
* 一部勘定科目の取り扱いの変更を受け、'22年3月期以前は組み換え前、'23年3月期以降は組み換え後の数値を表示しております。

連結営業利益（同率）の推移（四半期）

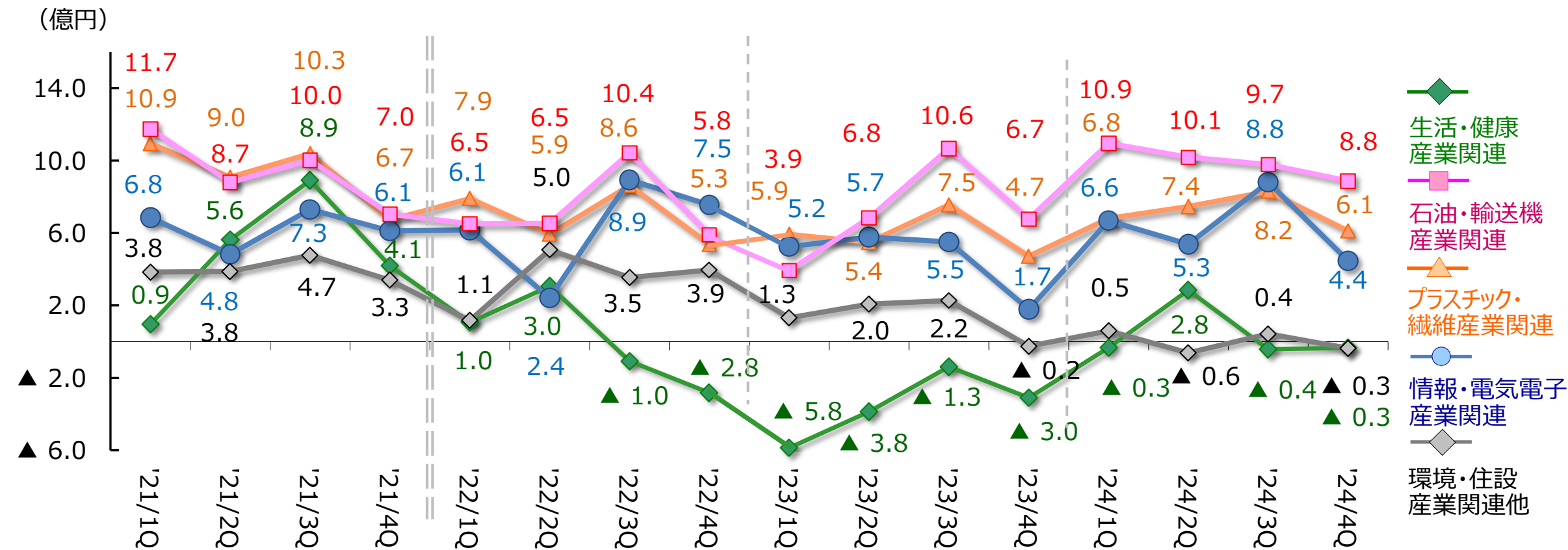


* 一部勘定科目の取り扱いの変更を受け、'22年3月期以前は組み換え前、'23年3月期以降は組み換え後の数値を表示しております。

連結産業分野別売上高の推移（四半期）



連結産業分野別営業利益の推移（四半期）



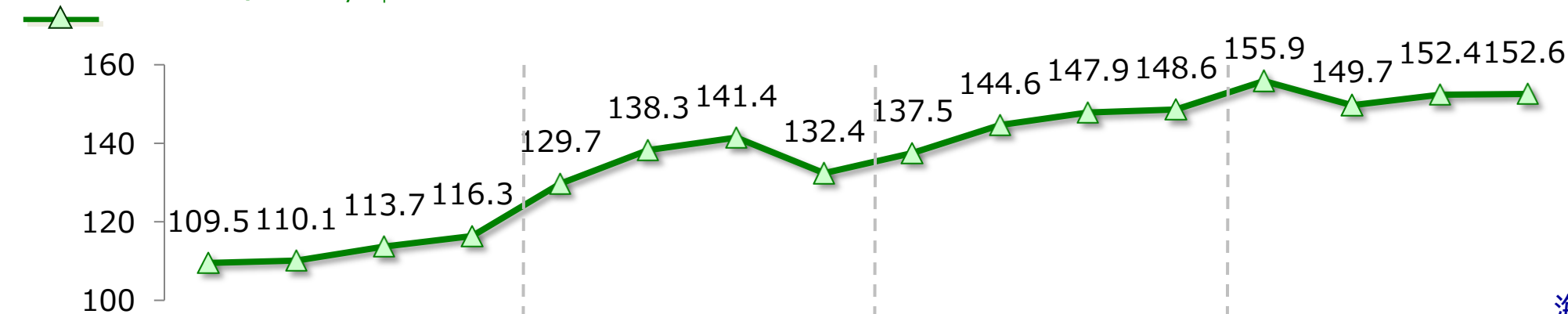
* 一部勘定科目の取り扱いの変更を受け、'22年3月期以前は組み換え前、'23年3月期以降は組み換え後の数値を表示しております。

新規事業に係る研究開発費（億円）

'22年3月期				'23年3月期				'24年3月期				'25年3月期			
1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
▲3.4	▲3.9	▲4.5	▲4.7	▲3.7	▲4.0	▲3.6	▲3.5	▲3.4	▲3.1	▲2.6	▲3.2	▲2.8	▲2.5	▲2.7	▲3.0

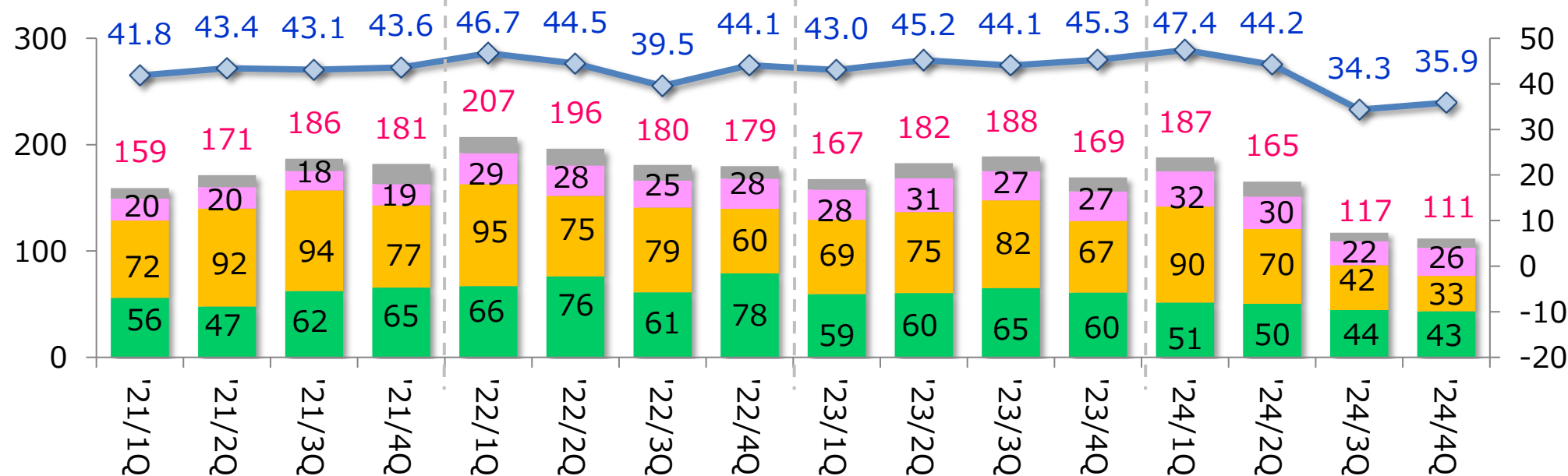
海外売上高の推移（四半期）

為替（期中平均）（円 / \$）

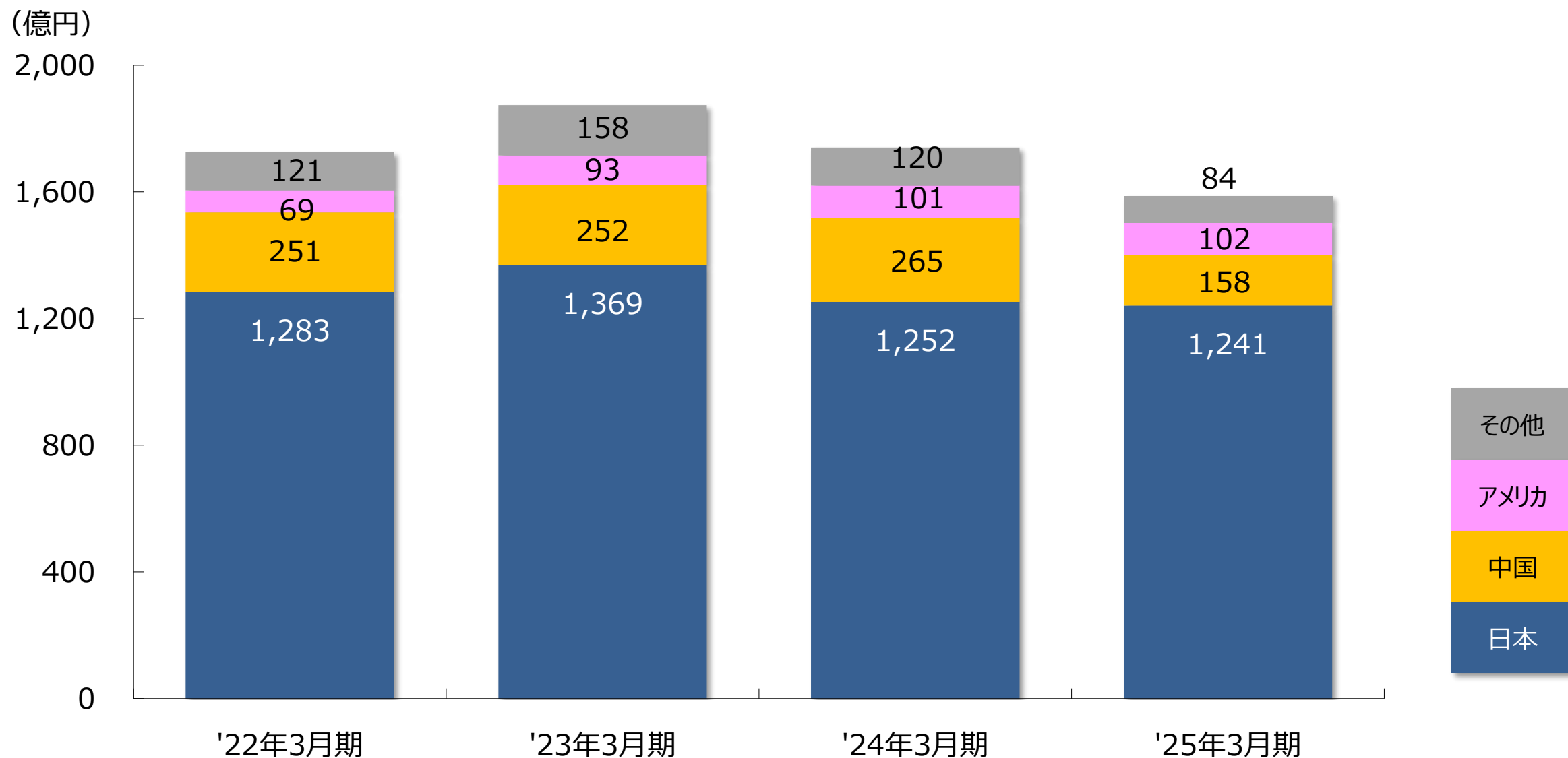


売上高（億円）

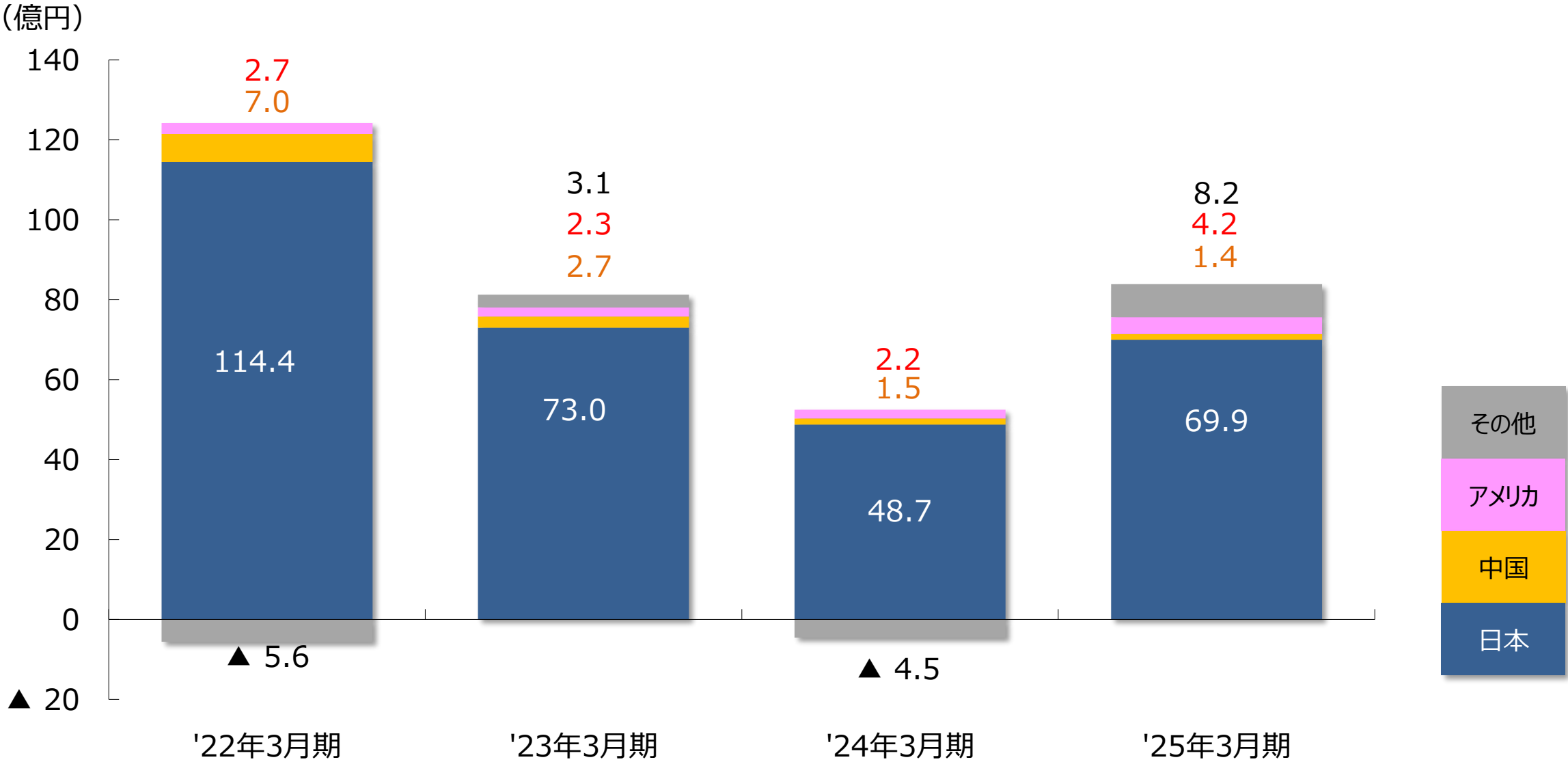
海外売上高比率（%）



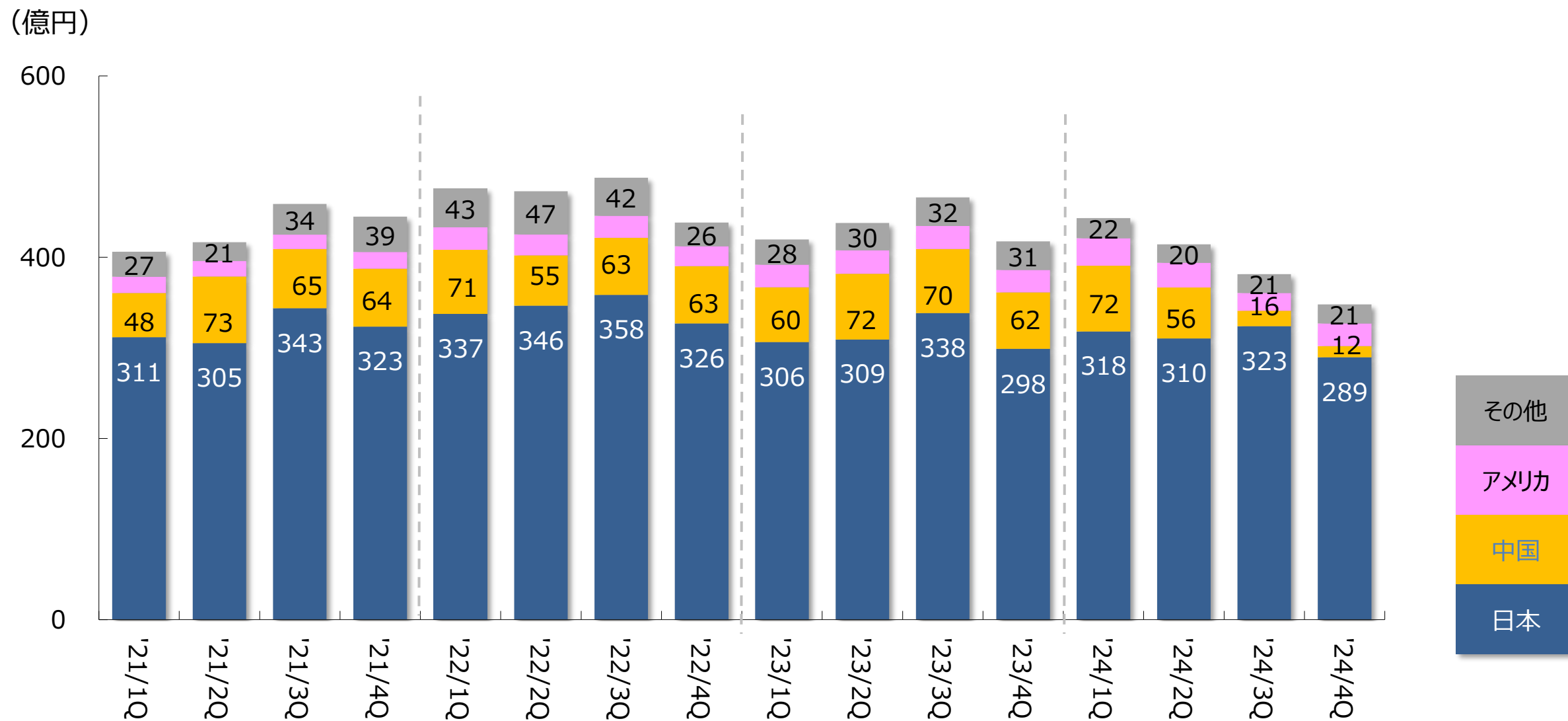
連結所在地別売上高の推移（単純合算）



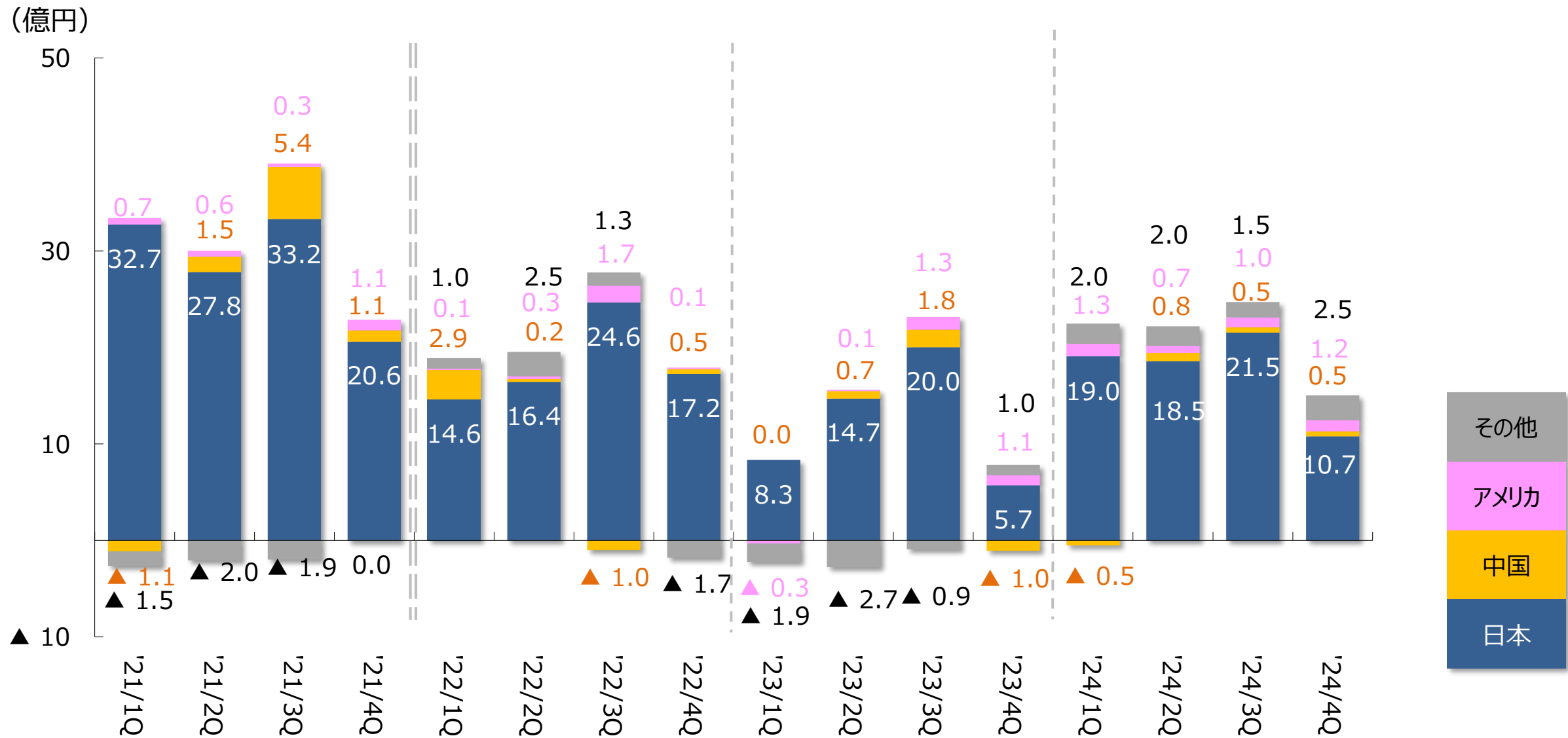
連結所在地別営業利益の推移（単純合算）



連結所在地別売上高の推移（単純合算）

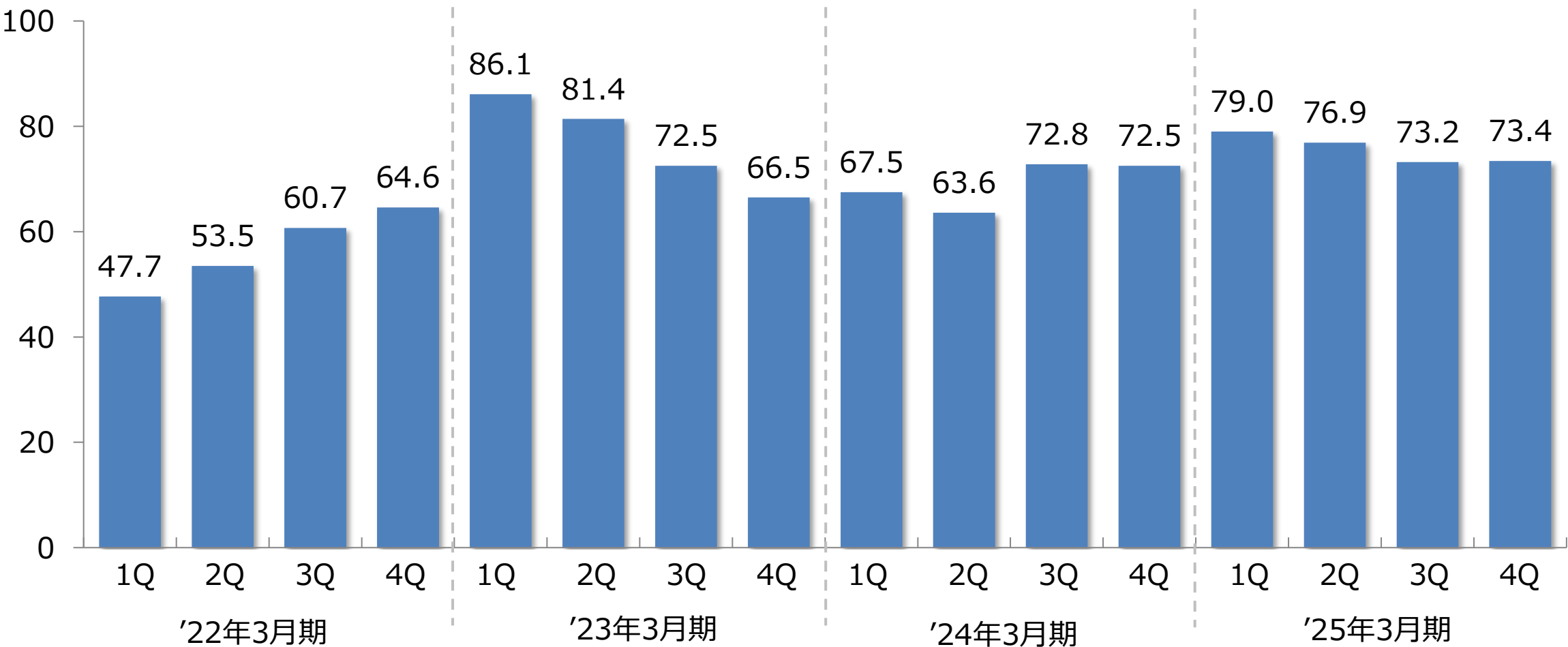


連結所在地別営業利益の推移（単純合算）



* 一部勘定科目の取り扱いの変更を受け、'22年3月期以前は組み換え前、'23年3月期以降は組み換え後の数値を表示しております。 55

国産ナフサ価格
(千円/kl)



(出典：財務省貿易統計)